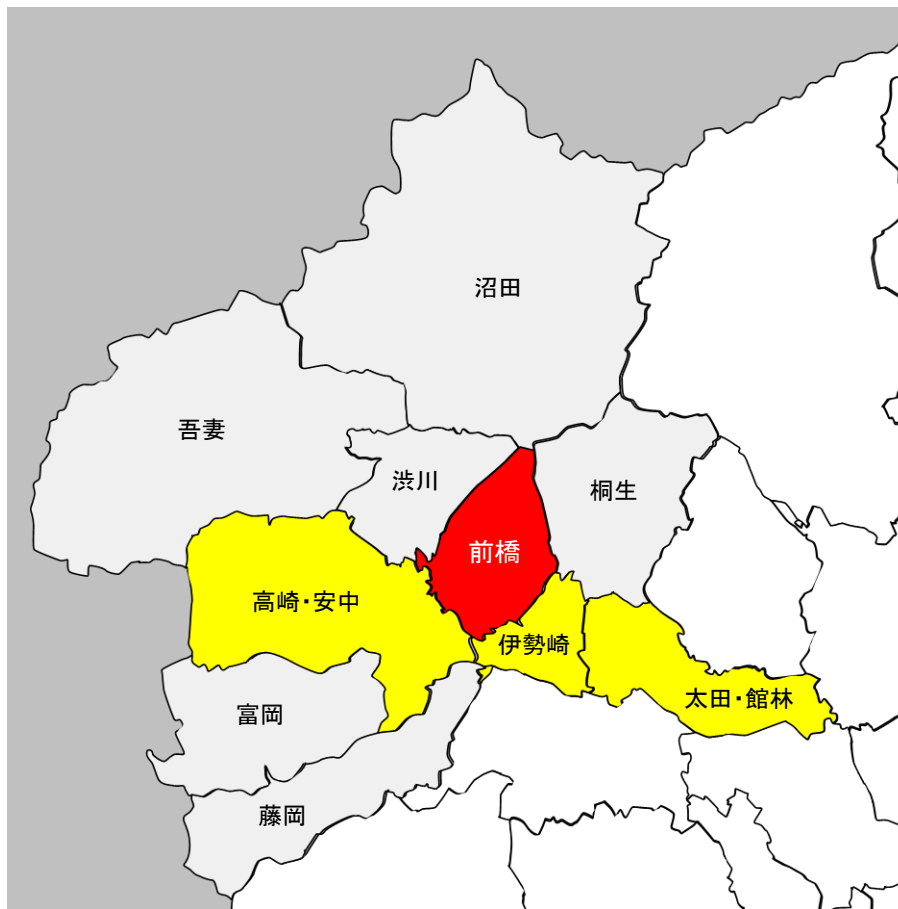


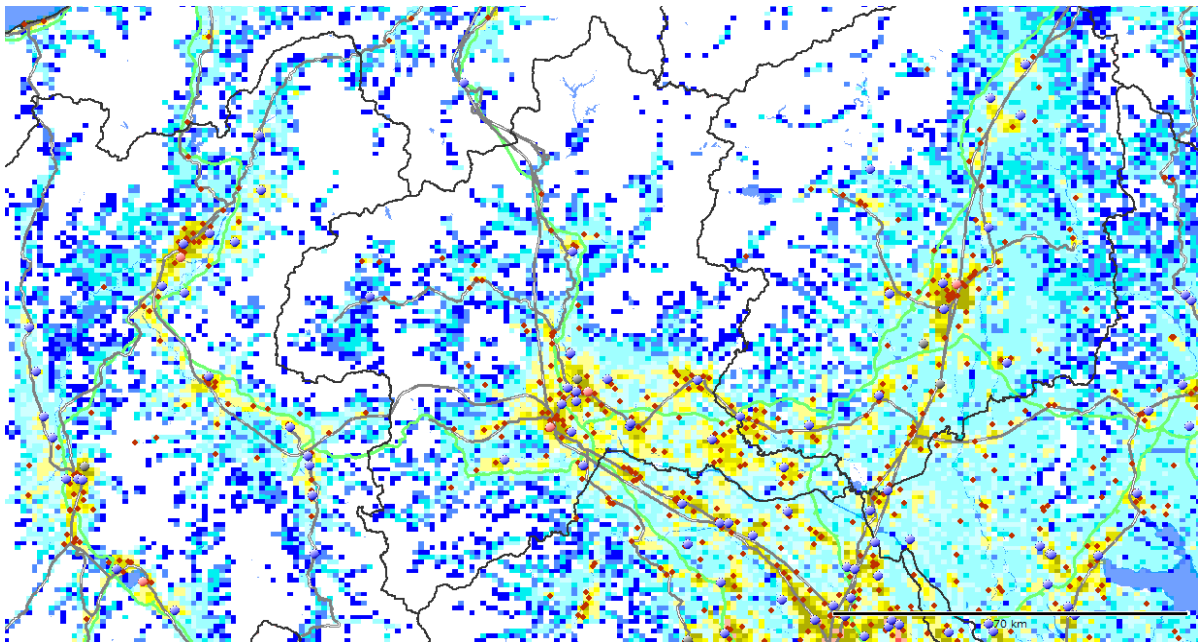
10. 群馬県



目次

群馬県	10	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	10	-	8
1. 前橋医療圏	10	-	26
2. 高崎・安中医療圏	10	-	31
3. 渋川医療圏	10	-	36
4. 藤岡医療圏	10	-	41
5. 富岡医療圏	10	-	46
6. 吾妻医療圏	10	-	51
7. 沼田医療圏	10	-	56
8. 伊勢崎医療圏	10	-	61
9. 桐生医療圏	10	-	66
10. 太田・館林医療圏	10	-	71

10. 群馬県

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(群馬県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 群馬県は、総人口約1,973千人(2015年)、面積6,362km²、人口密度は310人/km²である。

***人口の将来予測：** 群馬県の総人口は2025年に1,866千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1,638千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の262千人が、2025年にかけて350千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には358千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 群馬県の一人当たり医療費(国保)は332千円(偏差値45)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 群馬県の一人当たり急性期医療密度指数は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は0.9で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 群馬県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、29,694人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18,168床(偏差値56)、高齢者住宅等が11,526床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、24,084人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム48、軽費ホーム45、グループホーム49、サ高住56である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,954人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

群馬県の総人口は、2005年2,024,135人が、2015年に1,973,115人と3%減少し、2025年の人口が1,865,565人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

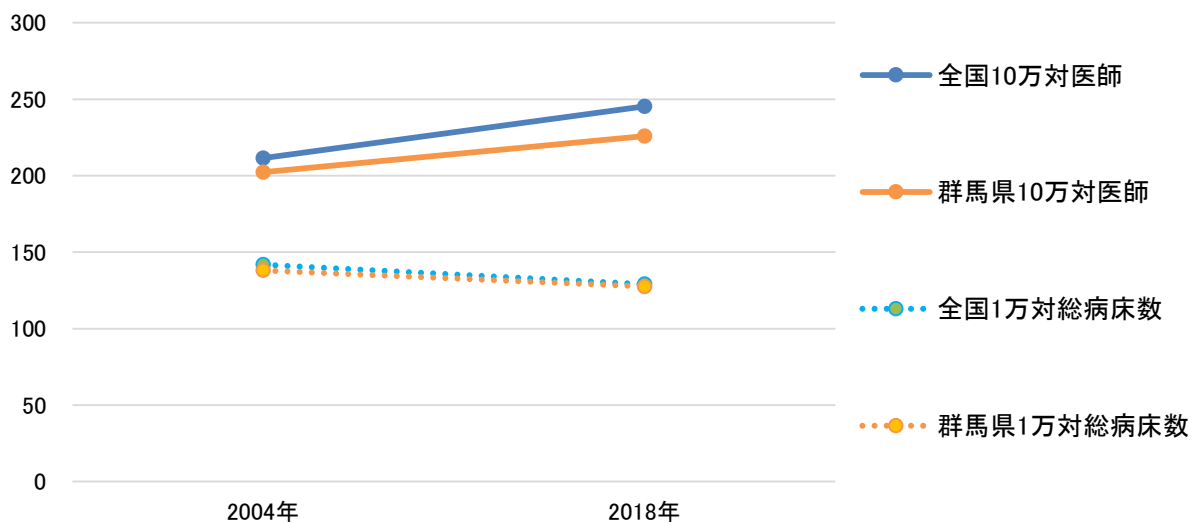
2004年の病院数が144(人口10万人当たり7.1病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に130(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が1,511(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2018年に1,550(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値49)と、39診療所が増加した。

2004年の総病床数が27,954床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2018年に25,180床(人口1万人当たり128(全国平均129)偏差値50)と、2,774床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が4,094人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に4,457人(人口10万人当たり226人(全国平均245人)偏差値48)と、363人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

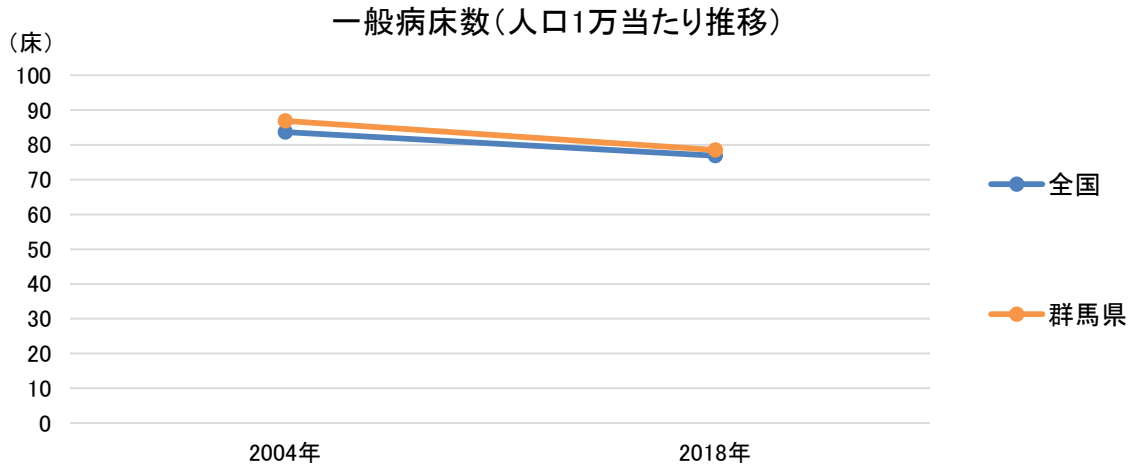
人口当たり医師数・総病床数の推移



10.群馬県(2019年版)

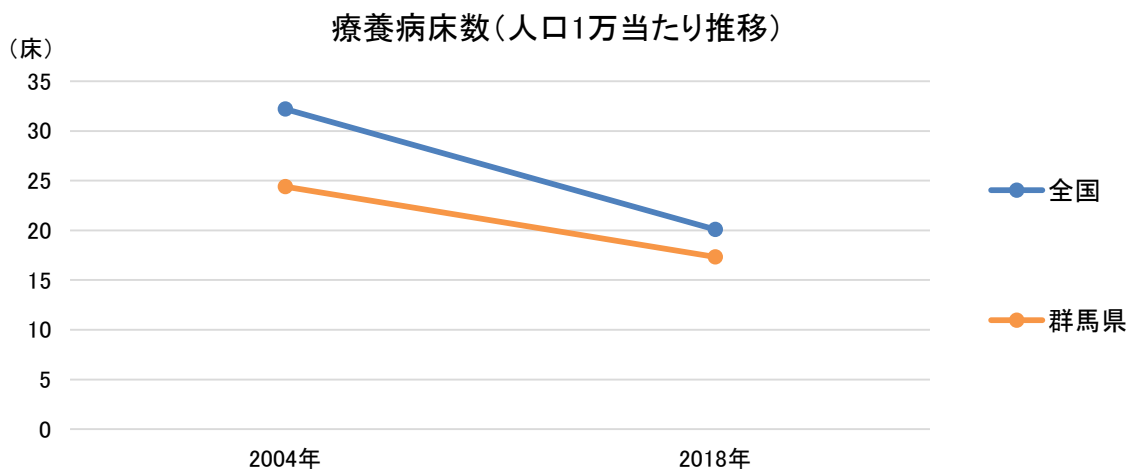
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17,582床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に15,486床(人口1万人当たり78(全国平均77)偏差値51)と、2,096床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



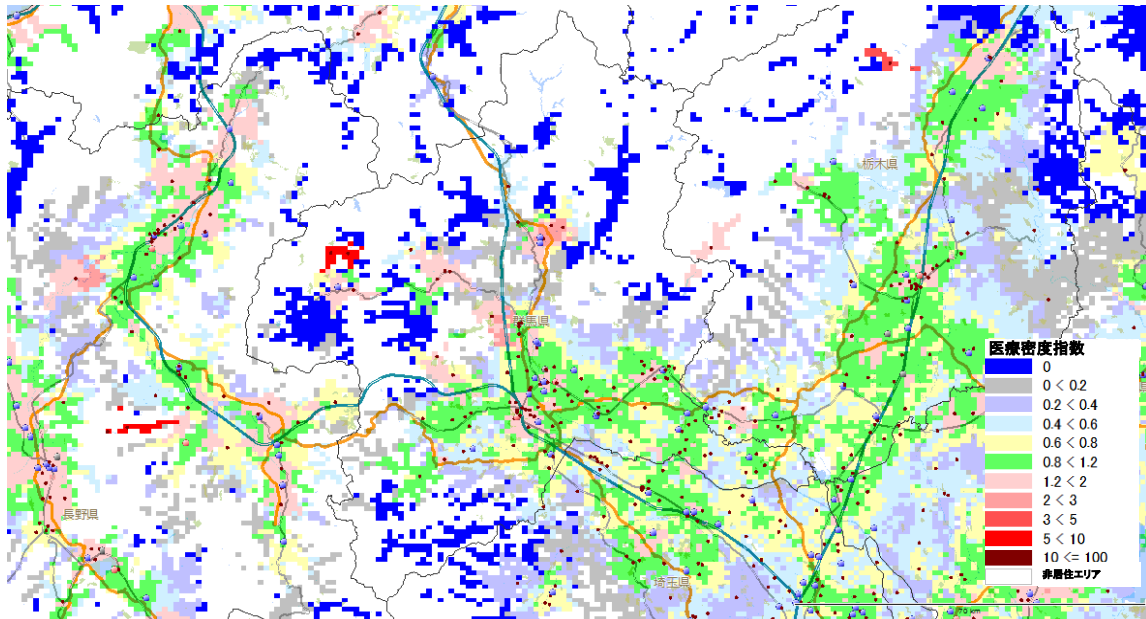
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,839床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2018年に4,532床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、307床の減少、率にして6%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



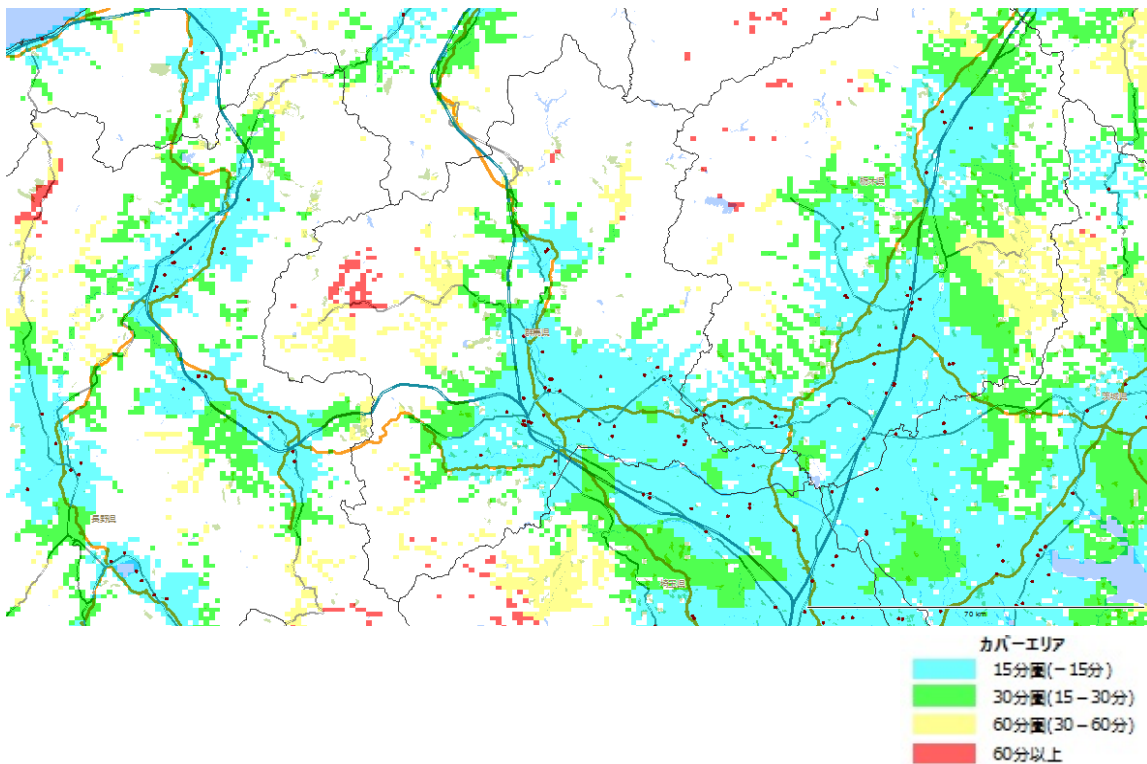
(群馬県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 10-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
群馬県	1,973	19位	6,362	21位	310.1		28%	1,866	1,638	262	350	358	-5%	-12%	34%	2%
前橋	336	17%	312	5%	1,078.8	地方都市型	28%	323	289	46	63	68	-4%	-11%	37%	8%
高崎・安中	429	22%	735	12%	583.9	地方都市型	27%	416	379	56	77	80	-3%	-9%	38%	4%
渋川	114	6%	289	5%	394.2	地方都市型	29%	105	88	16	20	21	-8%	-16%	25%	5%
藤岡	69	3%	477	7%	144.5	過疎地域型	30%	62	51	10	13	13	-10%	-18%	30%	0%
富岡	72	4%	489	8%	148.3	過疎地域型	33%	63	50	13	15	15	-13%	-21%	15%	0%
吾妻	56	3%	1,279	20%	44.1	過疎地域型	35%	47	35	11	12	11	-16%	-26%	9%	-8%
沼田	83	4%	1,766	28%	47.2	過疎地域型	32%	72	55	15	16	16	-13%	-24%	7%	0%
伊勢崎	245	12%	165	3%	1,485.7	地方都市型	23%	241	223	27	37	42	-2%	-7%	37%	14%
桐生	166	8%	483	8%	343.0	地方都市型	31%	146	116	25	32	28	-12%	-21%	28%	-13%
太田・館林	401	20%	369	6%	1,088.4	地方都市型	25%	390	351	43	64	64	-3%	-10%	49%	0%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 10-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
群馬県	0.91	0.90	24,899	27,989	-12.4%
前橋	1.04	0.78	3,908	4,875	-24.8%
高崎・安中	1.03	0.87	5,562	6,227	-12.0%
渋川	1.02	0.53	1,428	1,685	-18.0%
藤岡	0.76	0.66	952	1,051	-10.4%
富岡	0.63	1.02	1,467	1,217	17.0%
吾妻	0.60	2.13	900	988	-9.8%
沼田	0.81	1.64	1,587	1,327	16.4%
伊勢崎	0.81	0.74	2,124	2,975	-40.1%
桐生	0.91	1.16	2,218	2,547	-14.8%
太田・館林	0.84	0.80	4,753	5,095	-7.2%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 10-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
群馬県	332	45	0.931	130	47	0.940	180	43	0.933	257	51
前橋	337	46	0.950	135	49	0.979	180	43	0.938	261	52
高崎・安中	342	47	0.943	134	49	0.949	185	46	0.943	271	55
渋川	359	51	0.993	151	54	1.070	186	46	0.951	271	55
藤岡	352	49	0.965	137	50	0.965	194	51	0.981	256	50
富岡	331	44	0.880	135	49	0.919	175	40	0.859	253	49
吾妻	352	49	0.967	161	57	1.132	171	38	0.870	238	45
沼田	331	44	0.944	145	52	1.062	165	34	0.873	287	60
伊勢崎	305	38	0.895	113	42	0.859	170	37	0.924	247	48
桐生	343	47	0.947	131	48	0.927	190	49	0.968	273	55
太田・館林	315	41	0.893	116	43	0.848	178	42	0.934	230	43
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 10-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
群馬県	857	44	0.910	437	47	0.921	393	41	0.906
前橋	840	43	0.897	399	43	0.844	412	46	0.957
高崎・安中	872	45	0.923	442	48	0.932	401	43	0.920
渋川	886	46	0.930	476	51	0.989	383	38	0.875
藤岡	864	45	0.925	442	48	0.939	394	41	0.919
富岡	749	35	0.789	405	44	0.837	322	22	0.747
吾妻	874	45	0.934	532	57	1.110	324	23	0.767
沼田	944	51	0.990	570	60	1.167	353	30	0.817
伊勢崎	860	44	0.916	438	47	0.930	393	41	0.903
桐生	891	47	0.947	460	49	0.974	404	44	0.929
太田・館林	821	41	0.880	385	42	0.828	409	45	0.945
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

10.群馬県(2019年版)

資_図表 10-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
群馬県	130	1.6%	6.6	50	1,550	1.5%	79	49
前橋	21	16%	6.2	49	334	22%	99	60
高崎・安中	32	25%	7.5	52	384	25%	89	55
渋川	10	8%	8.8	56	74	5%	65	42
藤岡	5	4%	7.3	52	47	3%	68	44
富岡	4	3%	5.5	47	61	4%	84	52
吾妻	9	7%	16.0	74	33	2%	59	39
沼田	7	5%	8.4	55	55	4%	66	42
伊勢崎	11	8%	4.5	45	167	11%	68	44
桐生	12	9%	7.2	52	132	9%	80	50
太田・館林	19	15%	4.7	45	263	17%	66	42
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 10-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
群馬県	1,550	1.5%	79	49	1,467	1.5%	74	50	83	1.2%	4.2	48
前橋	334	22%	99	60	313	21%	93	60	21	25%	6.2	51
高崎・安中	384	25%	89	55	362	25%	84	55	22	27%	5.1	49
渋川	74	5%	65	42	70	5%	62	43	4	5%	3.5	47
藤岡	47	3%	68	44	47	3%	68	46	0	0%	0	41
富岡	61	4%	84	52	60	4%	83	54	1	1%	1.4	43
吾妻	33	2%	59	39	30	2%	53	39	3	4%	5.3	50
沼田	55	4%	66	42	52	4%	62	43	3	4%	3.6	47
伊勢崎	167	11%	68	44	154	10%	63	44	13	16%	5.3	50
桐生	132	9%	80	50	125	9%	75	50	7	8%	4.2	48
太田・館林	263	17%	66	42	254	17%	63	44	9	11%	2.2	44
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 10-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
群馬県	24,056	1.6%	1,219	50	1,124	1.2%	57	48	25,180	1.5%	1,276	50
前橋	4,391	18%	1,306	52	323	29%	96	52	4,714	19%	1,402	52
高崎・安中	4,578	19%	1,066	47	275	24%	64	49	4,853	19%	1,130	47
渋川	2,183	9%	1,918	65	34	3%	30	45	2,217	9%	1,948	62
藤岡	902	4%	1,309	52	0	0%	0	42	902	4%	1,309	50
富岡	1,051	4%	1,450	55	9	1%	12	43	1,060	4%	1,462	53
吾妻	1,489	6%	2,640	80	40	4%	71	50	1,529	6%	2,711	77
沼田	962	4%	1,153	49	49	4%	59	48	1,011	4%	1,212	49
伊勢崎	2,701	11%	1,100	48	176	16%	72	50	2,877	11%	1,172	48
桐生	2,137	9%	1,290	52	100	9%	60	48	2,237	9%	1,351	51
太田・館林	3,662	15%	912	44	118	10%	29	45	3,780	15%	942	43
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 10-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
群馬県	14,406	1.6%	730	51	4,488	1.4%	227	49	5,045	1.5%	256	50
前橋	3,044	21%	906	59	408	9%	121	43	922	18%	274	51
高崎・安中	2,664	18%	620	46	1,020	23%	238	49	878	17%	204	47
渋川	1,056	7%	928	60	100	2%	88	42	977	19%	859	79
藤岡	707	5%	1,026	65	191	4%	277	51	0	0%	0	38
富岡	540	4%	745	52	147	3%	203	48	360	7%	497	61
吾妻	771	5%	1,367	80	491	11%	871	81	223	4%	395	56
沼田	688	5%	825	56	270	6%	324	54	0	0%	0	38
伊勢崎	1,468	10%	598	45	420	9%	171	46	809	16%	330	53
桐生	1,260	9%	761	53	587	13%	354	55	286	6%	173	46
太田・館林	2,208	15%	550	43	854	19%	213	48	590	12%	147	45
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

10.群馬県(2019年版)

資_図表 10-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
群馬県	1,465	1.8%	74	52	1,645	2.1%	83	53
前橋	197	13%	59	49	150	9%	45	47
高崎・安中	367	25%	85	55	265	16%	62	50
渋川	43	3%	38	44	62	4%	54	49
藤岡	55	4%	80	53	157	10%	228	73
富岡	57	4%	79	53	160	10%	221	72
吾妻	156	11%	277	96	82	5%	145	62
沼田	123	8%	147	68	171	10%	205	70
伊勢崎	190	13%	77	53	175	11%	71	51
桐生	106	7%	64	50	223	14%	135	60
太田・館林	171	12%	43	45	200	12%	50	48
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 10-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
群馬県	7,783	6,933	193	16,160	7,520	4,135	48.0%	51	4.5%	50
前橋	2,141	2,062	0	2,224	982	382	67.7%	59	0.0%	48
高崎・安中	650	594	50	3,913	2,126	899	21.8%	42	5.3%	50
渋川	600	550	0	1,583	506	100	52.1%	53	0.0%	48
藤岡	498	447	47	404	260	144	63.2%	57	24.6%	59
富岡	621	540	77	510	0	150	100.0%	71	33.9%	63
吾妻	817	571	19	560	183	377	75.7%	62	4.8%	50
沼田	179	175	0	783	513	270	25.4%	43	0.0%	48
伊勢崎	759	490	0	1,942	978	420	33.4%	46	0.0%	48
桐生	471	467	0	1,666	793	587	37.1%	47	0.0%	48
太田・館林	1,047	1,037	0	2,575	1,179	806	46.8%	51	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 10-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
群馬県	30,048	1.4%	1,523	47	14,076	1.5%	713	50
前橋	11,184	37%	3,327	69	3,696	26%	1,099	64
高崎・安中	4,032	13%	939	40	3,468	25%	808	53
渋川	996	3%	875	39	552	4%	485	41
藤岡	816	3%	1,184	43	420	3%	610	46
富岡	1,488	5%	2,053	54	492	3%	679	48
吾妻	132	0%	234	32	48	0%	85	26
沼田	660	2%	791	38	252	2%	302	34
伊勢崎	3,204	11%	1,305	45	1,776	13%	724	50
桐生	804	3%	485	35	960	7%	580	44
太田・館林	6,732	22%	1,677	49	2,412	17%	601	45
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 10-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
群馬県	4,457	1.4%	226	48	2,820	1.4%	143	47	1,637	1.6%	83	51
前橋	1,484	33%	441	71	1,091	39%	325	72	393	24%	117	65
高崎・安中	866	19%	202	45	450	16%	105	42	416	25%	97	56
渋川	256	6%	225	48	186	7%	163	50	70	4%	62	41
藤岡	160	4%	232	49	119	4%	173	51	41	3%	60	41
富岡	153	3%	211	46	95	3%	131	46	58	4%	80	49
吾妻	74	2%	131	38	50	2%	89	40	24	1%	43	33
沼田	150	3%	180	43	94	3%	113	43	56	3%	67	44
伊勢崎	424	10%	173	42	239	8%	97	41	185	11%	75	47
桐生	296	7%	179	43	153	5%	92	40	143	9%	86	52
太田・館林	594	13%	148	39	343	12%	85	39	251	15%	63	42
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 10-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
群馬県	466	1.6%	23.6	51	236	1.7%	12.0	52	158	1.4%	8.0	48
前橋	172	37%	51.2	75	76	32%	22.6	74	53	34%	15.8	67
高崎・安中	87	19%	20.3	48	41	17%	9.5	47	34	22%	7.9	48
渋川	24	5%	21.1	48	32	14%	28.1	85	7	4%	6.2	43
藤岡	30	6%	43.5	68	8	3%	11.6	51	5	3%	7.3	46
富岡	20	4%	27.6	54	6	3%	8.3	44	5	3%	6.9	45
吾妻	9	2%	16.0	44	2	1%	3.5	35	3	2%	5.3	41
沼田	20	4%	24.0	51	7	3%	8.4	45	7	4%	8.4	49
伊勢崎	45	10%	18.3	46	22	9%	9.0	46	12	8%	4.9	40
桐生	21	5%	12.7	41	22	9%	13.3	55	10	6%	6.0	43
太田・館林	38	8%	9.5	38	20	8%	5.0	38	22	14%	5.5	42
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 10-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
群馬県	79	1.4%	4.0	48	131	1.3%	6.6	46	85	1.1%	4.3	44
前橋	24	30%	7.1	62	41	31%	12.2	64	30	35%	8.9	61
高崎・安中	18	23%	4.2	49	33	25%	7.7	50	22	26%	5.1	47
渋川	6	8%	5.3	53	5	4%	4.4	39	3	4%	2.6	38
藤岡	2	3%	2.9	43	2	2%	2.9	35	1	1%	1.5	33
富岡	3	4%	4.1	48	4	3%	5.5	43	4	5%	5.5	48
吾妻	0	0%	0	30	2	2%	3.5	37	0	0%	0	28
沼田	3	4%	3.6	46	4	3%	4.8	41	1	1%	1.2	33
伊勢崎	10	13%	4.1	48	13	10%	5.3	42	8	9%	3.3	40
桐生	5	6%	3.0	43	11	8%	6.6	46	7	8%	4.2	44
太田・館林	8	10%	2.0	39	16	12%	4.0	38	9	11%	2.2	36
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 10-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
群馬県	145	1.5%	7.3	49	333	1.5%	16.9	49	272	1.6%	13.8	51
前橋	34	23%	10.1	57	103	31%	30.6	69	92	34%	27.4	80
高崎・安中	29	20%	6.8	48	64	19%	14.9	47	55	20%	12.8	49
渋川	24	17%	21.1	87	25	8%	22.0	57	9	3%	7.9	38
藤岡	2	1%	2.9	37	12	4%	17.4	50	11	4%	16.0	56
富岡	9	6%	12.4	63	6	2%	8.3	37	10	4%	13.8	51
吾妻	4	3%	7.1	49	5	2%	8.9	38	6	2%	10.6	44
沼田	1	1%	1.2	33	9	3%	10.8	41	7	3%	8.4	39
伊勢崎	21	14%	8.6	53	31	9%	12.6	43	20	7%	8.1	39
桐生	7	5%	4.2	41	23	7%	13.9	45	19	7%	11.5	46
太田・館林	14	10%	3.5	39	55	17%	13.7	45	43	16%	10.7	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 10-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
群馬県	101	1.6%	5.1	51	88	1.3%	4.5	46	95	1.6%	4.8	50
前橋	27	27%	8.0	64	28	32%	8.3	62	45	47%	13.4	78
高崎・安中	21	21%	4.9	50	20	23%	4.7	47	10	11%	2.3	43
渋川	5	5%	4.4	48	3	3%	2.6	38	10	11%	8.8	63
藤岡	3	3%	4.4	48	3	3%	4.4	45	3	3%	4.4	49
富岡	4	4%	5.5	53	3	3%	4.1	45	2	2%	2.8	44
吾妻	1	1%	1.8	36	0	0%	0	28	0	0%	0	35
沼田	2	2%	2.4	39	7	8%	8.4	62	1	1%	1.2	39
伊勢崎	16	16%	6.5	58	5	6%	2.0	36	8	8%	3.3	46
桐生	6	6%	3.6	44	4	5%	2.4	38	4	4%	2.4	43
太田・館林	16	16%	4.0	46	15	17%	3.7	43	12	13%	3.0	45
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

10.群馬県(2019年版)

資_図表 10-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
群馬県	121	1.6%	6.1	51	32	1.9%	1.6	53	43	1.0%	2.2	44
前橋	48	40%	14.3	76	17	53%	5.1	88	22	51%	6.5	65
高崎・安中	18	15%	4.2	45	4	13%	0.9	46	3	7%	0.7	37
渋川	6	5%	5.3	48	1	3%	0.9	46	3	7%	2.6	47
藤岡	4	3%	5.8	50	2	6%	2.9	66	2	5%	2.9	48
富岡	3	2%	4.1	45	1	3%	1.4	51	0	0%	0	34
吾妻	2	2%	3.5	43	1	3%	1.8	55	1	2%	1.8	43
沼田	2	2%	2.4	40	1	3%	1.2	49	2	5%	2.4	45
伊勢崎	9	7%	3.7	44	1	3%	0.4	41	3	7%	1.2	40
桐生	9	7%	5.4	49	2	6%	1.2	49	1	2%	0.6	37
太田・館林	20	17%	5.0	47	2	6%	0.5	42	6	14%	1.5	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 10-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテ ーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
群馬県	12	0.5%	0.6	41	35	1.3%	1.8	47
前橋	5	42%	1.5	48	12	34%	3.6	60
高崎・安中	3	25%	0.7	42	8	23%	1.9	48
渋川	1	8%	0.9	43	1	3%	0.9	41
藤岡	0	0%	0	36	1	3%	1.5	45
富岡	0	0%	0	36	1	3%	1.4	45
吾妻	0	0%	0	36	4	11%	7.1	84
沼田	0	0%	0	36	0	0%	0	35
伊勢崎	0	0%	0	36	3	9%	1.2	43
桐生	1	8%	0.6	41	1	3%	0.6	39
太田・館林	2	17%	0.5	40	4	11%	1.0	42
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 10-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
群馬県	18,694	1.6%	947	52	14,786	1.6%	749	51	3,909	1.7%	198	53
前橋	4,426	24%	1,317	64	3,558	24%	1,058	64	868	22%	258	61
高崎・安中	3,816	20%	889	50	2,728	18%	635	46	1,088	28%	253	61
渋川	1,340	7%	1,177	60	1,133	8%	996	61	206	5%	181	50
藤岡	690	4%	1,001	53	531	4%	771	52	159	4%	230	57
富岡	710	4%	980	53	562	4%	775	52	148	4%	205	54
吾妻	571	3%	1,012	54	514	3%	911	58	57	1%	101	39
沼田	759	4%	909	50	640	4%	767	52	118	3%	142	45
伊勢崎	2,133	11%	869	49	1,693	11%	689	49	441	11%	179	50
桐生	1,506	8%	909	50	1,267	9%	765	52	239	6%	145	45
太田・館林	2,745	15%	684	42	2,160	15%	538	42	585	15%	146	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 10-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
群馬県	2,236	1.6%	113	51	3,963	1.3%	201	46
前橋	391	17%	116	51	896	23%	267	52
高崎・安中	476	21%	111	50	962	24%	224	48
渋川	117	5%	103	49	177	4%	156	41
藤岡	106	5%	154	58	144	4%	209	47
富岡	81	4%	112	50	127	3%	175	43
吾妻	145	6%	257	76	68	2%	121	38
沼田	178	8%	213	68	119	3%	143	40
伊勢崎	257	11%	105	49	432	11%	176	43
桐生	196	9%	118	52	313	8%	189	45
太田・館林	290	13%	72	43	725	18%	181	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 10-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
群馬県	239	1.7%	0.9	51	22	1.5%	0.1	49	211	1.8%	0.8	54
前橋	74	31%	1.6	66	3	14%	0.1	47	44	21%	1.0	61
高崎・安中	58	24%	1.0	53	8	36%	0.1	57	53	25%	0.9	60
渋川	17	7%	1.1	54	0	0%	0	37	8	4%	0.5	41
藤岡	11	5%	1.1	55	1	5%	0.1	51	7	3%	0.7	50
富岡	11	5%	0.9	49	1	5%	0.1	48	6	3%	0.5	39
吾妻	1	0%	0.1	32	4	18%	0.4	88	4	2%	0.4	35
沼田	5	2%	0.3	38	2	9%	0.1	56	8	4%	0.5	43
伊勢崎	18	8%	0.7	45	1	5%	0.0	43	20	9%	0.8	52
桐生	16	7%	0.6	44	0	0%	0	37	25	12%	1.0	63
太田・館林	28	12%	0.6	45	2	9%	0.0	44	36	17%	0.8	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 10-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
群馬県	29,694	1.7%	113	55	18,168	1.8%	69	56	11,526	1.6%	44	50
前橋	4,878	16%	106	51	2,879	16%	63	51	1,999	17%	44	50
高崎・安中	6,675	22%	119	58	3,712	20%	66	54	2,963	26%	53	56
渋川	1,788	6%	113	55	1,160	6%	73	59	628	5%	40	47
藤岡	1,265	4%	127	63	773	4%	77	63	492	4%	49	53
富岡	1,541	5%	120	59	1,047	6%	81	66	494	4%	38	47
吾妻	958	3%	88	40	626	3%	58	47	332	3%	31	42
沼田	1,757	6%	119	58	1,018	6%	69	56	739	6%	50	54
伊勢崎	2,820	9%	106	50	1,757	10%	66	54	1,063	9%	40	48
桐生	2,531	9%	101	47	1,827	10%	73	59	704	6%	28	40
太田・館林	5,481	18%	126	62	3,369	19%	78	63	2,112	18%	49	53
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 10-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
群馬県	6,508	1.8%	25	54	11,269	1.9%	43	57	391	0.8%	1.5	46
前橋	924	14%	20	46	1,947	17%	42	57	8	2%	0.2	42
高崎・安中	1,428	22%	25	55	2,256	20%	40	54	28	7%	0.5	43
渋川	510	8%	32	66	650	6%	41	55	0	0%	0	42
藤岡	297	5%	30	62	440	4%	44	58	36	9%	3.6	51
富岡	350	5%	27	58	669	6%	52	66	28	7%	2.2	47
吾妻	230	4%	21	48	396	4%	36	51	0	0%	0	42
沼田	377	6%	26	55	641	6%	43	58	0	0%	0	42
伊勢崎	582	9%	22	49	1,175	10%	44	58	0	0%	0	42
桐生	644	10%	26	55	1,183	10%	47	61	0	0%	0	42
太田・館林	1,166	18%	27	57	1,912	17%	44	58	291	74%	6.7	59
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
群馬県	3,215	1.3%	12.3	48	105	0.4%	0.4	45	3,095	1.5%	11.8	49
前橋	570	18%	12.4	48	0	0%	0	43	459	15%	10.0	46
高崎・安中	926	29%	16.5	52	0	0%	0	43	738	24%	13.1	51
渋川	79	2%	5.0	41	0	0%	0	43	189	6%	11.9	49
藤岡	35	1%	3.5	40	0	0%	0	43	144	5%	14.4	53
富岡	180	6%	14.0	49	20	19%	1.6	51	180	6%	14.0	53
吾妻	85	3%	7.8	44	0	0%	0	43	189	6%	17.4	58
沼田	360	11%	24.4	59	30	29%	2.0	53	179	6%	12.1	49
伊勢崎	133	4%	5.0	41	0	0%	0	43	234	8%	8.8	43
桐生	84	3%	3.3	39	55	52%	2.2	54	252	8%	10.0	46
太田・館林	763	24%	17.6	53	0	0%	0	43	531	17%	12.2	49
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
群馬県	5,111	2.1%	19.5	56	316	1.2%	1.2	48	4,795	2.2%	18.3	57
前橋	970	19%	21.2	58	0	0%	0	42	970	20%	21.2	61
高崎・安中	1,299	25%	23.1	61	186	59%	3.3	59	1,113	23%	19.8	59
渋川	360	7%	22.7	60	0	0%	0	42	360	8%	22.7	63
藤岡	313	6%	31.3	72	0	0%	0	42	313	7%	31.3	75
富岡	114	2%	8.9	42	40	13%	3.1	58	74	2%	5.7	39
吾妻	58	1%	5.3	37	0	0%	0	42	58	1%	5.3	39
沼田	170	3%	11.5	45	0	0%	0	42	170	4%	11.5	47
伊勢崎	696	14%	26.1	65	0	0%	0	42	696	15%	26.1	68
桐生	313	6%	12.5	47	0	0%	0	42	313	7%	12.5	49
太田・館林	818	16%	18.8	55	90	28%	2.1	53	728	15%	16.8	55
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 10-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
群馬県	3,059	1.7%	11.7	54	2,105	1.8%	8.0	54	955	1.7%	3.6	52
前橋	529	17%	11.5	54	318	15%	6.9	48	211	22%	4.6	60
高崎・安中	728	24%	12.9	60	482	23%	8.6	57	246	26%	4.4	58
渋川	147	5%	9.3	44	106	5%	6.7	47	42	4%	2.6	43
藤岡	99	3%	9.9	46	79	4%	7.9	53	21	2%	2.1	38
富岡	160	5%	12.4	58	126	6%	9.8	63	34	4%	2.6	43
吾妻	89	3%	8.2	38	64	3%	5.9	43	25	3%	2.3	40
沼田	160	5%	10.8	50	113	5%	7.6	52	47	5%	3.2	48
伊勢崎	261	9%	9.8	46	170	8%	6.4	45	91	10%	3.4	50
桐生	284	9%	11.3	53	181	9%	7.2	50	102	11%	4.1	56
太田・館林	603	20%	13.9	64	466	22%	10.7	68	137	14%	3.1	48
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
群馬県	27,037	1.8%	103	59	24,084	1.9%	92	62	2,954	1.3%	11.3	46
前橋	4,668	17%	102	58	4,014	17%	88	58	653	22%	14.3	52
高崎・安中	6,198	23%	110	65	5,621	23%	100	70	576	20%	10.2	44
渋川	1,621	6%	102	59	1,466	6%	93	62	155	5%	9.8	43
藤岡	873	3%	87	45	776	3%	78	48	97	3%	9.7	43
富岡	1,189	4%	92	50	1,132	5%	88	58	57	2%	4.5	33
吾妻	765	3%	70	30	710	3%	65	37	55	2%	5.1	34
沼田	1,543	6%	104	60	1,430	6%	97	66	113	4%	7.6	39
伊勢崎	2,713	10%	102	58	2,323	10%	87	58	390	13%	14.6	52
桐生	2,636	10%	105	61	2,241	9%	89	59	396	13%	15.8	54
太田・館林	4,831	18%	111	66	4,370	18%	101	70	461	16%	10.6	45
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
群馬県	17,889	1.5%	68	48	9,119	1.7%	35	51	17,410	1.6%	67	49
前橋	4,626	26%	101	57	2,148	24%	47	59	3,498	20%	76	53
高崎・安中	4,061	23%	72	49	1,469	16%	26	45	3,084	18%	55	44
渋川	560	3%	35	39	342	4%	22	41	628	4%	40	38
藤岡	651	4%	65	47	230	3%	23	42	1,060	6%	106	66
富岡	601	3%	47	42	267	3%	21	41	335	2%	26	32
吾妻	352	2%	32	38	477	5%	44	57	259	1%	24	31
沼田	421	2%	28	37	497	5%	34	50	574	3%	39	37
伊勢崎	1,297	7%	49	42	1,013	11%	38	53	3,347	19%	126	74
桐生	2,003	11%	80	51	919	10%	37	52	2,132	12%	85	57
太田・館林	3,317	19%	76	50	1,757	19%	40	55	2,493	14%	57	45
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
群馬県		2,024,135	1,973,115	-3%	1,865,565	-8%	10%	4%	15%
前橋	地方都市型	340,904	336,154	-1%	322,740	-5%	13%	7%	21%
高崎・安中	地方都市型	428,098	429,415	0%	416,091	-3%	13%	6%	20%
渋川	地方都市型	119,687	113,800	-5%	104,977	-12%	7%	3%	10%
藤岡	過疎地域型	73,580	68,892	-6%	62,359	-15%	6%	1%	7%
富岡	過疎地域型	81,151	72,489	-11%	63,459	-22%	0%	-1%	-1%
吾妻	過疎地域型	65,619	56,391	-14%	47,325	-28%	-3%	-6%	-8%
沼田	過疎地域型	93,927	83,407	-11%	71,843	-24%	-1%	-4%	-5%
伊勢崎	地方都市型	240,615	245,468	2%	240,843	0%	14%	8%	23%
桐生	地方都市型	180,152	165,620	-8%	146,428	-19%	6%	-2%	3%
太田・館林	地方都市型	400,402	401,479	0%	389,500	-3%	14%	7%	22%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 10-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
群馬県	144	7.1	50	130	6.6	50	-14	-10%
前橋	23	6.7	49	21	6.2	49	-2	-9%
高崎・安中	37	8.6	54	32	7.5	52	-5	-14%
渋川	12	10.0	58	10	8.8	56	-2	-17%
藤岡	6	8.2	53	5	7.3	52	-1	-17%
富岡	5	6.2	48	4	5.5	47	-1	-20%
吾妻	9	13.7	67	9	16.0	74	0	0%
沼田	7	7.5	51	7	8.4	55	0	0%
伊勢崎	11	4.6	43	11	4.5	45	0	0%
桐生	14	7.8	52	12	7.2	52	-2	-14%
太田・館林	20	5.0	45	19	4.7	45	-1	-5%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 10-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
群馬県	1,511	75	49	1,550	79	49	39	3%
前橋	355	104	64	334	99	60	-21	-6%
高崎・安中	354	83	53	384	89	55	30	8%
渋川	72	60	42	74	65	42	2	3%
藤岡	48	65	45	47	68	44	-1	-2%
富岡	57	70	47	61	84	52	4	7%
吾妻	37	56	40	33	59	39	-4	-11%
沼田	58	62	43	55	66	42	-3	-5%
伊勢崎	159	66	45	167	68	44	8	5%
桐生	146	81	53	132	80	50	-14	-10%
太田・館林	225	56	40	263	66	42	38	17%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 10-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
群馬県	4,094	202	49	4,457	226	48	363	9%
前橋	1,367	401	73	1,484	441	71	117	9%
高崎・安中	715	167	45	866	202	45	151	21%
渋川	205	171	45	256	225	48	51	25%
藤岡	152	207	49	160	232	49	8	5%
富岡	164	202	49	153	211	46	-11	-7%
吾妻	102	155	43	74	131	38	-28	-27%
沼田	151	161	44	150	180	43	-1	-1%
伊勢崎	381	158	44	424	173	42	43	11%
桐生	333	185	47	296	179	43	-37	-11%
太田・館林	524	131	40	594	148	39	70	13%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 10-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
群馬県	27,954	138	49	25,180	128	50	-2,774	-10%
前橋	5,099	150	51	4,714	140	52	-385	-8%
高崎・安中	5,138	120	46	4,853	113	47	-285	-6%
渋川	2,306	193	59	2,217	195	62	-89	-4%
藤岡	1,019	138	49	902	131	50	-117	-11%
富岡	1,245	153	52	1,060	146	53	-185	-15%
吾妻	1,894	289	76	1,529	271	77	-365	-19%
沼田	1,227	131	48	1,011	121	49	-216	-18%
伊勢崎	3,109	129	48	2,877	117	48	-232	-7%
桐生	2,679	149	51	2,237	135	51	-442	-16%
太田・館林	4,238	106	44	3,780	94	43	-458	-11%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 10-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
群馬県	17,582	87	51	15,486	78	51	-2,096	-12%
前橋	3,622	106	58	3,353	100	59	-269	-7%
高崎・安中	3,258	76	47	2,939	68	47	-319	-10%
渋川	1,083	90	52	1,090	96	57	7	1%
藤岡	833	113	60	707	103	60	-126	-15%
富岡	576	71	46	549	76	50	-27	-5%
吾妻	1,368	208	94	811	144	76	-557	-41%
沼田	824	88	51	737	88	54	-87	-11%
伊勢崎	1,579	66	44	1,626	66	46	47	3%
桐生	1,717	95	54	1,348	81	52	-369	-21%
太田・館林	2,722	68	44	2,326	58	43	-396	-15%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 10-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

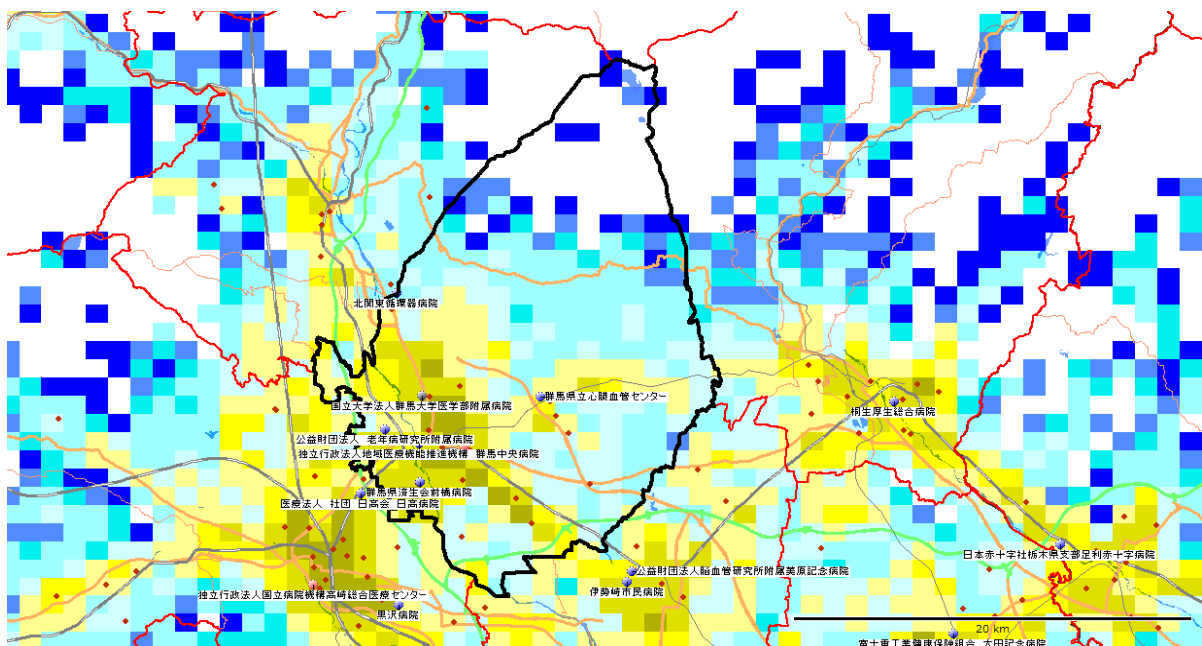
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
群馬県	4,839	24	46	4,532	17	47	-307	-6%
前橋	459	14	40	422	9	40	-37	-8%
高崎・安中	972	24	45	1,020	18	48	48	5%
渋川	200	16	41	100	6	38	-100	-50%
藤岡	182	23	45	191	19	49	9	5%
富岡	305	27	47	147	11	42	-158	-52%
吾妻	299	32	50	491	45	73	192	64%
沼田	351	28	47	270	18	48	-81	-23%
伊勢崎	586	31	49	438	16	47	-148	-25%
桐生	592	30	49	599	24	53	7	1%
太田・館林	893	28	47	854	20	50	-39	-4%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

10-1. まえばし 前橋医療圏

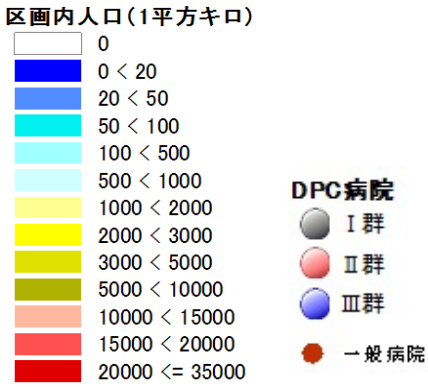
構成市区町村 [前橋市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(前橋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 前橋(前橋市)は、総人口約336千人(2015年)、面積312km²、人口密度は1,079人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 前橋の総人口は2025年に323千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に289千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には68千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 前橋の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値46)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 前橋の一人当たり急性期医療密度指数は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は0.78で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が71(病院医師数72、診療所医師数65)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は69と非常に多い。前橋には、年間全身麻酔件数が2000例以上の前橋赤十字病院(Ⅱ群)、群馬大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の群馬県済生会前橋病院(Ⅲ群)、500例以上の群馬県立心臓血管センター(Ⅲ群)、JCHO群馬中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 前橋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,878人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,879床(偏差値51)、高齢者住宅等が1,999床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,014人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、653人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(前橋医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

前橋医療圏の総人口は、2005年340,904人が、2015年に336,154人と1%減少し、2025年の人口が322,740人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

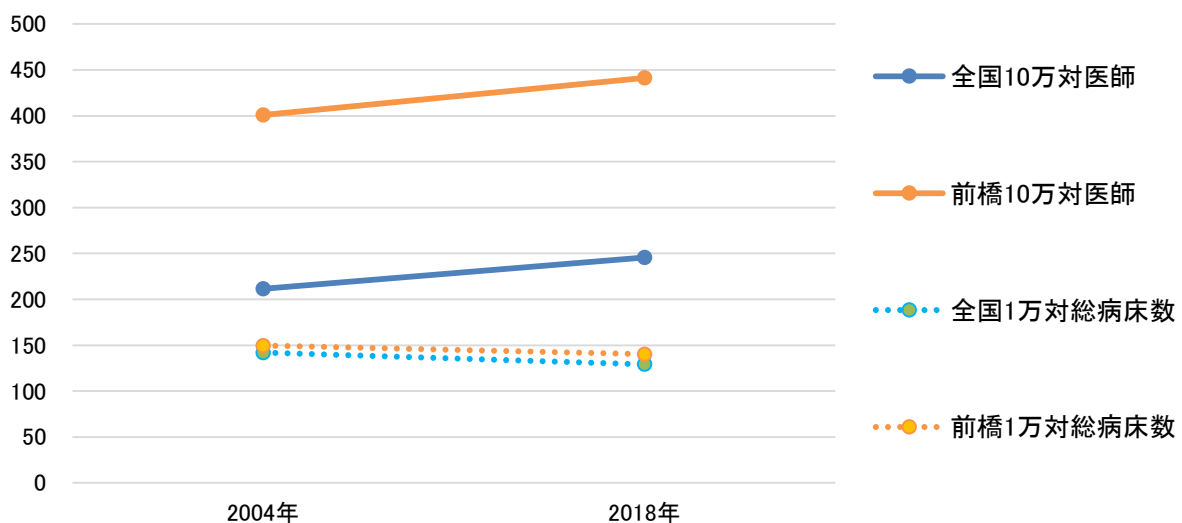
2004年の病院数が23(人口10万人当たり6.7病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2018年に21(人口10万人当たり6.2病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が355(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2018年に334(人口10万人当たり99診療所(全国平均80)偏差値60)と、21診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,099床(人口1万人当たり150(全国平均142)偏差値51)であったが、2018年に4,714床(人口1万人当たり140(全国平均129)偏差値52)と、385床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

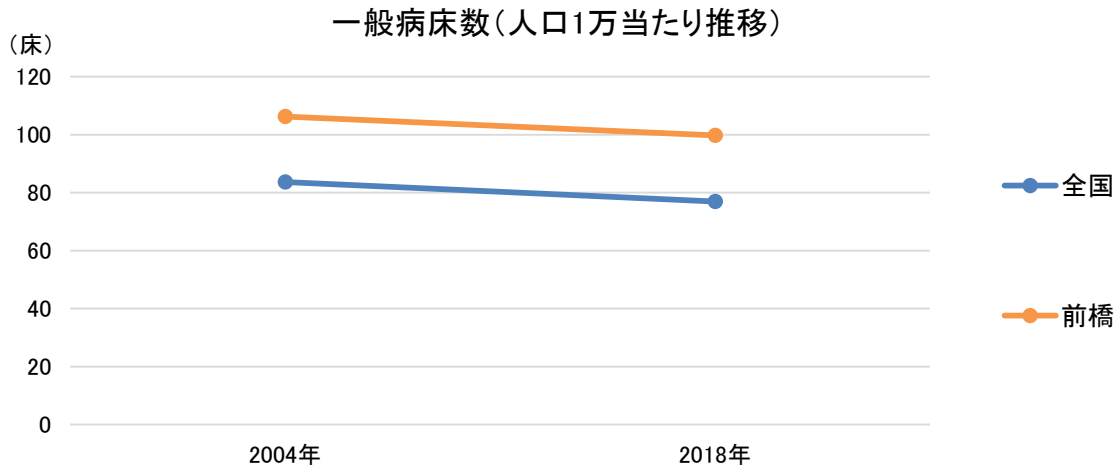
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,367人(人口10万人当たり401人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2018年に1,484人(人口10万人当たり441人(全国平均245人)偏差値71)と、117人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



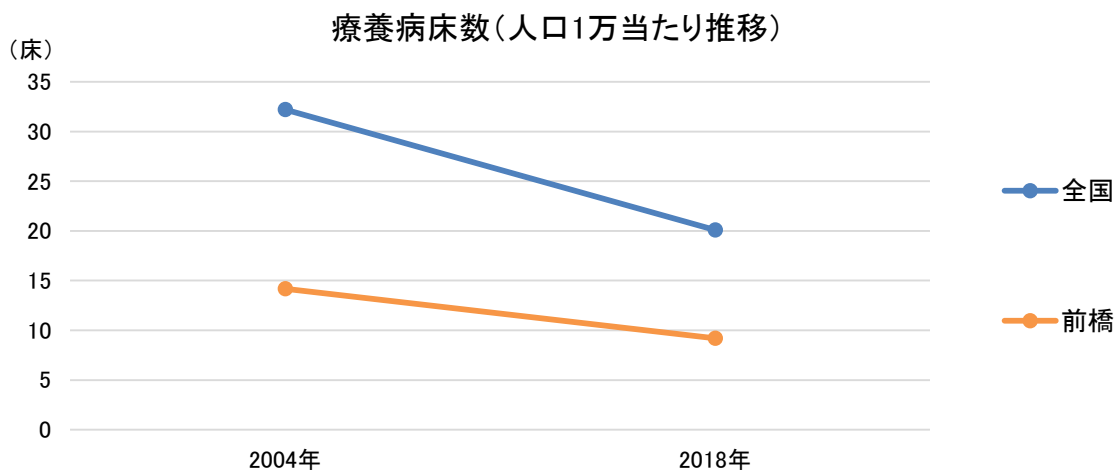
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,622床(人口1万人当たり106(全国平均84)偏差値58)であったが、2018年に3,353床(人口1万人当たり100(全国平均77)偏差値59)と、269床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



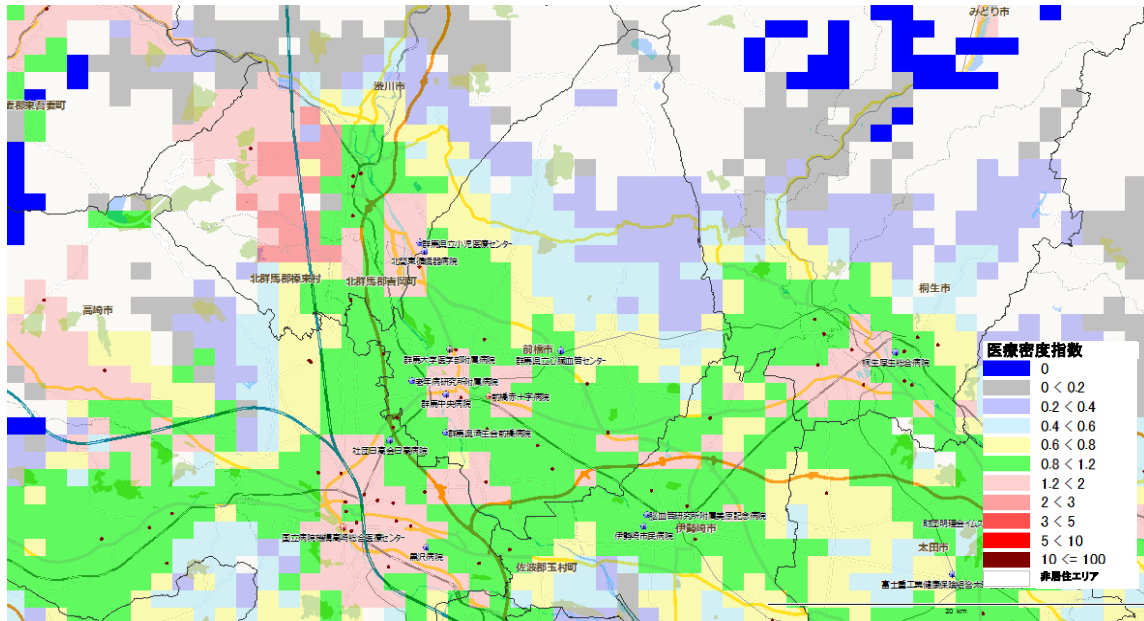
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が459床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に422床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均20)偏差値40)と、37床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



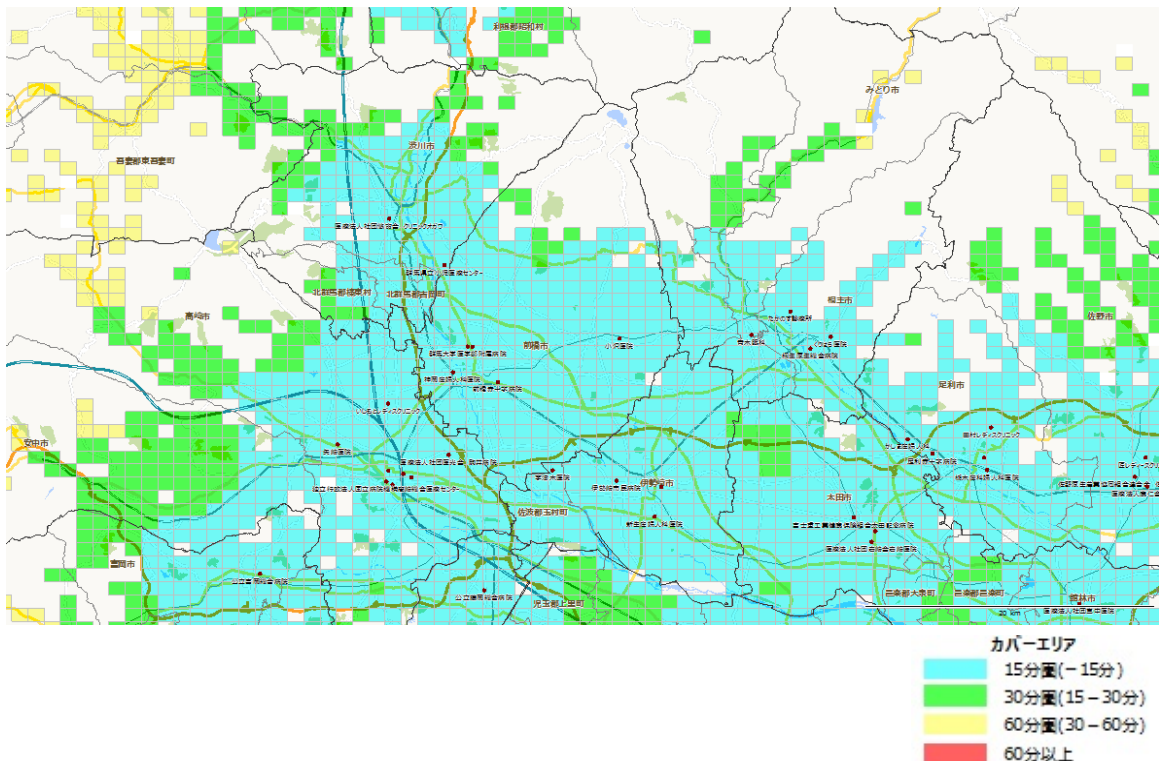
(前橋医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

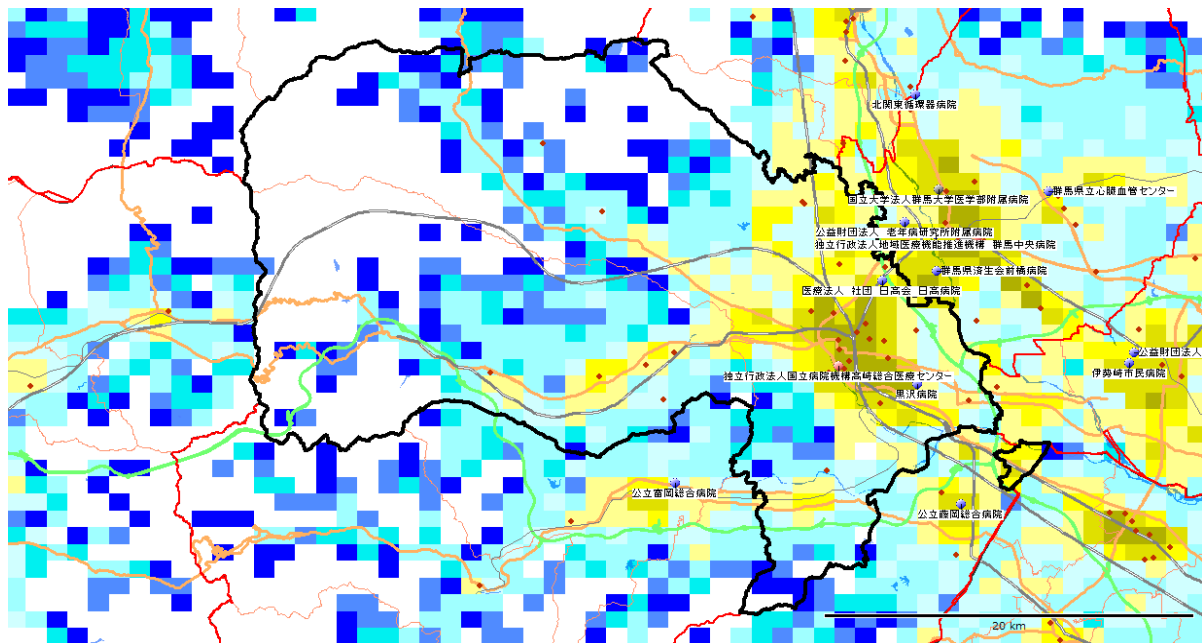


10-2. たかさき あんなか 高崎・安中医療圏

構成市区町村 [高崎市](#) [安中市](#)

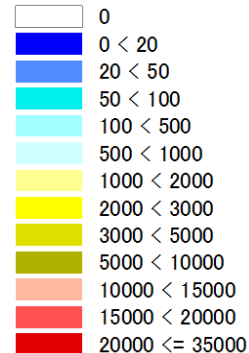
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(高崎・安中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高崎・安中(高崎市)は、総人口約429千人(2015年)、面積735km²、人口密度は584人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高崎・安中の総人口は2025年に416千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に379千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の56千人が、2025年にかけて77千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には80千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高崎・安中の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値47)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高崎・安中の一人当たり急性期医療密度指数は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。高崎・安中には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHQ高崎総合医療センター(Ⅱ群・救命)、500例以上の日高病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高崎・安中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,675人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,712床(偏差値54)、高齢者住宅等が2,963床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,621人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム52、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住61である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、576人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(高崎・安中医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

高崎・安中医療圏の総人口は、2005年428,098人が、2015年に429,415人と1%未満増加し、2025年の人口が416,091人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

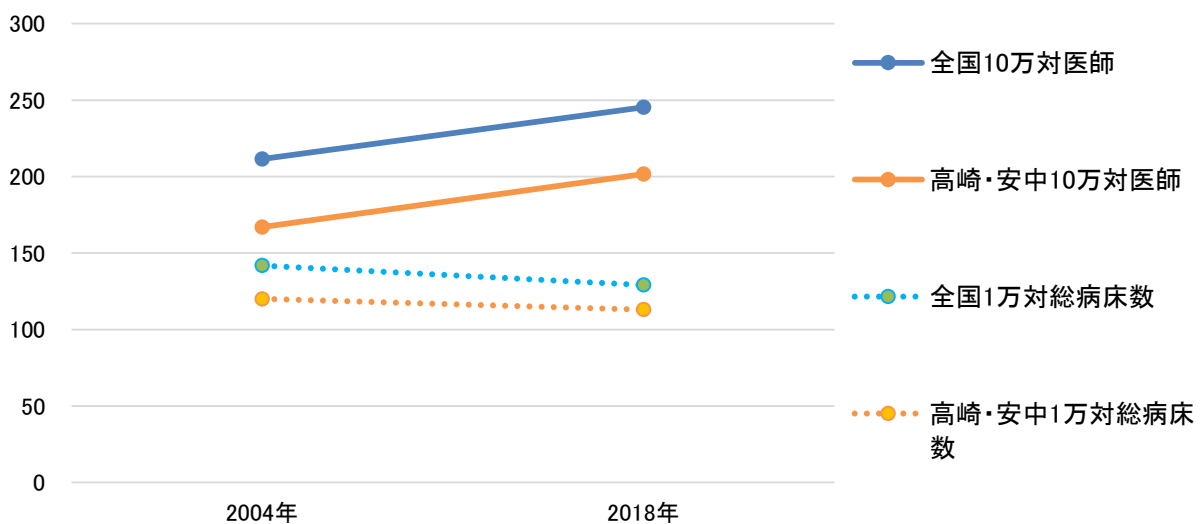
2004年の病院数が37(人口10万人当たり8.6病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に32(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が354(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に384(人口10万人当たり89診療所(全国平均80)偏差値55)と、30診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,138床(人口1万人当たり120(全国平均142)偏差値46)であったが、2018年に4,853床(人口1万人当たり113(全国平均129)偏差値47)と、285床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

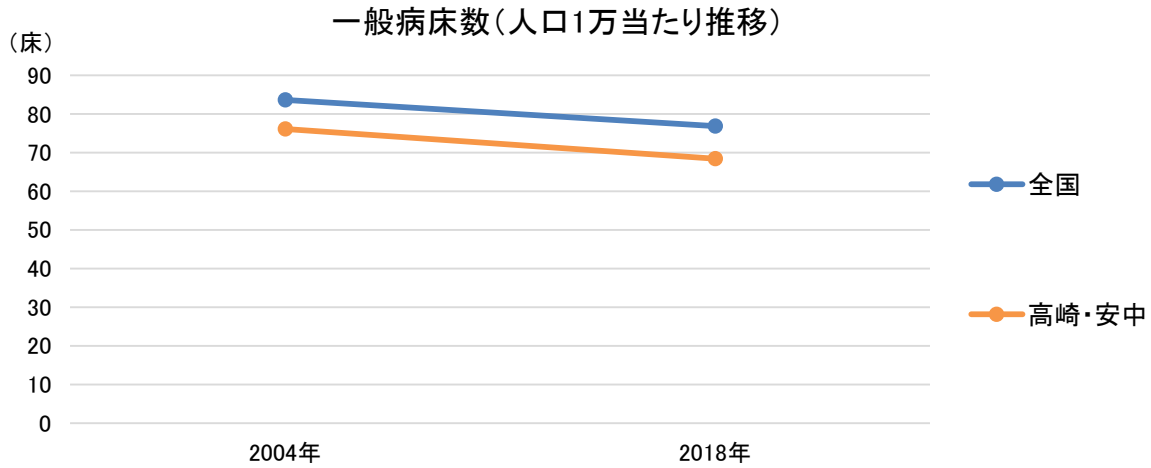
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が715人(人口10万人当たり167人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に866人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、151人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



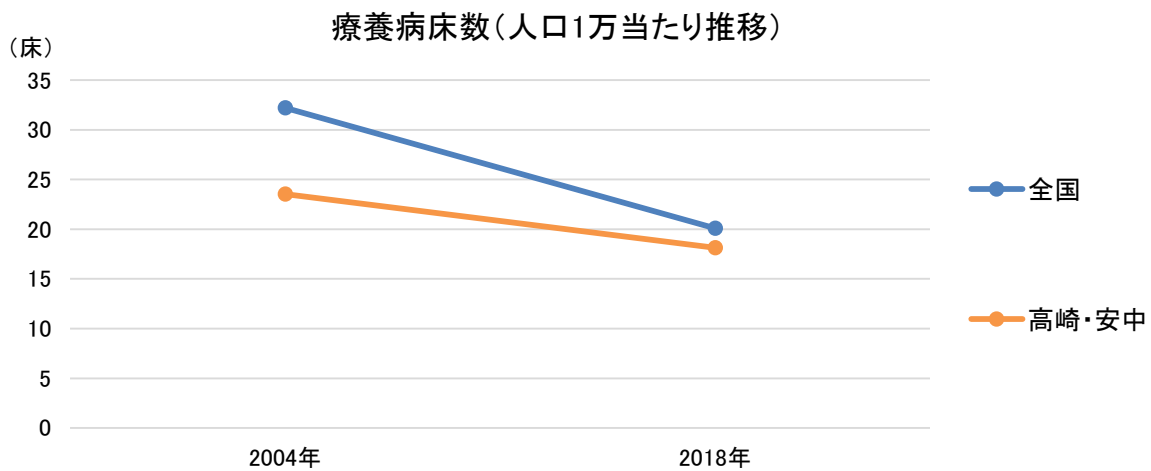
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,258床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2018年に2,939床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値47)と、319床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



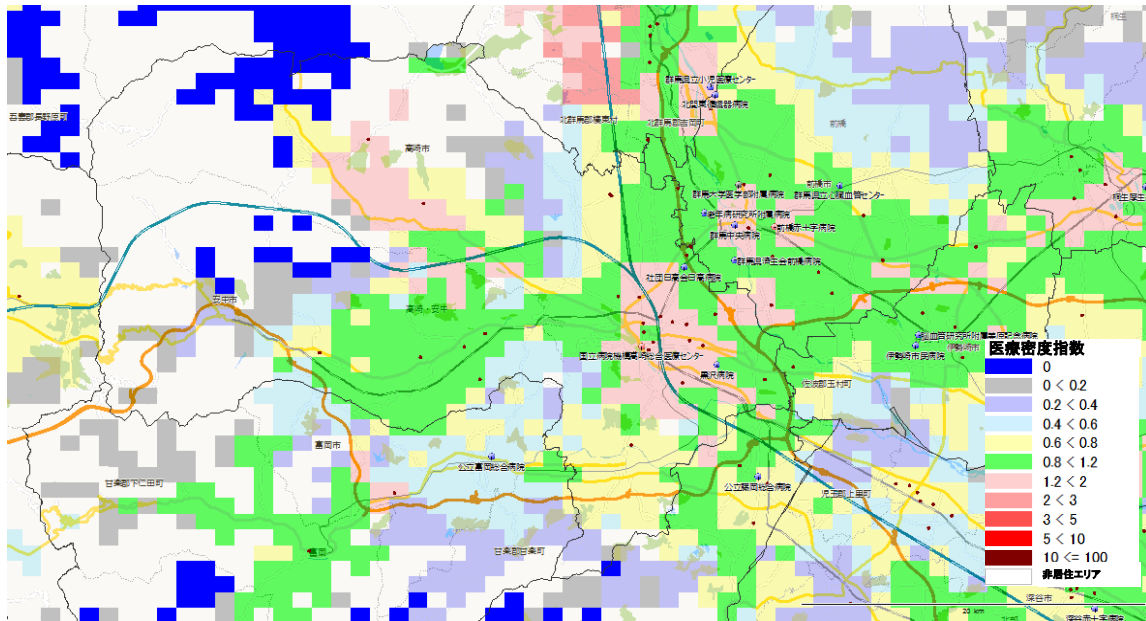
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が972床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2018年に1,020床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、48床の増加、率にして5%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



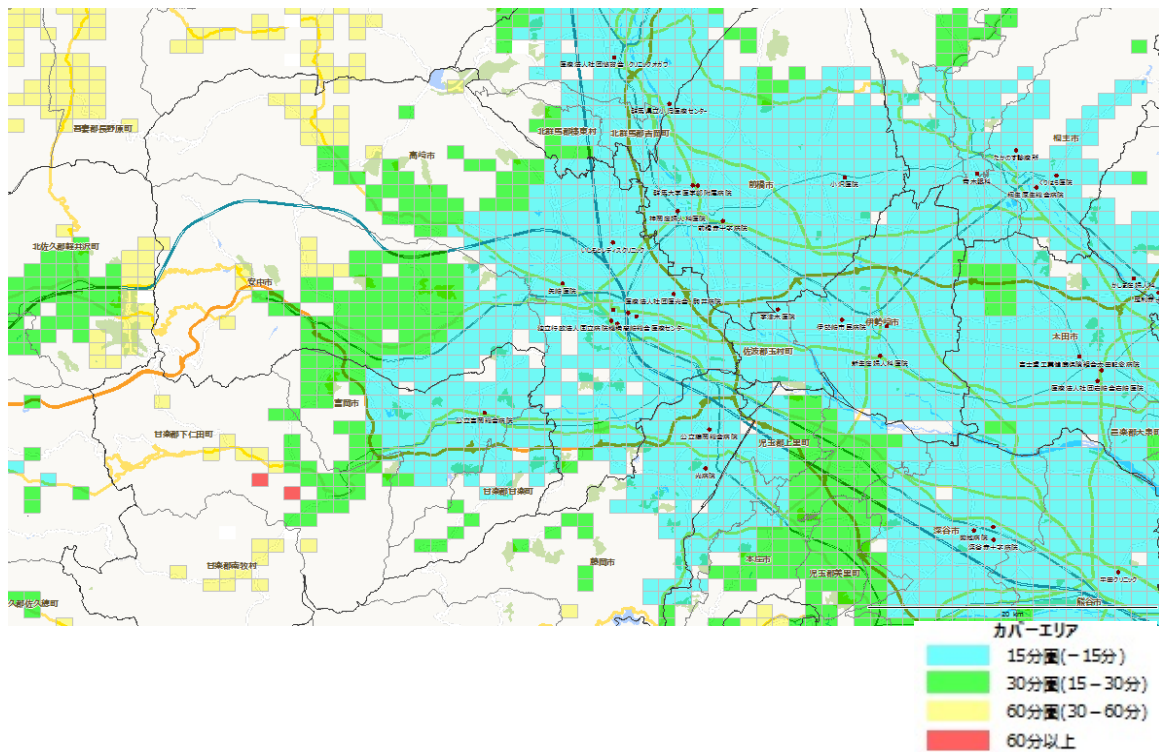
(高崎・安中医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

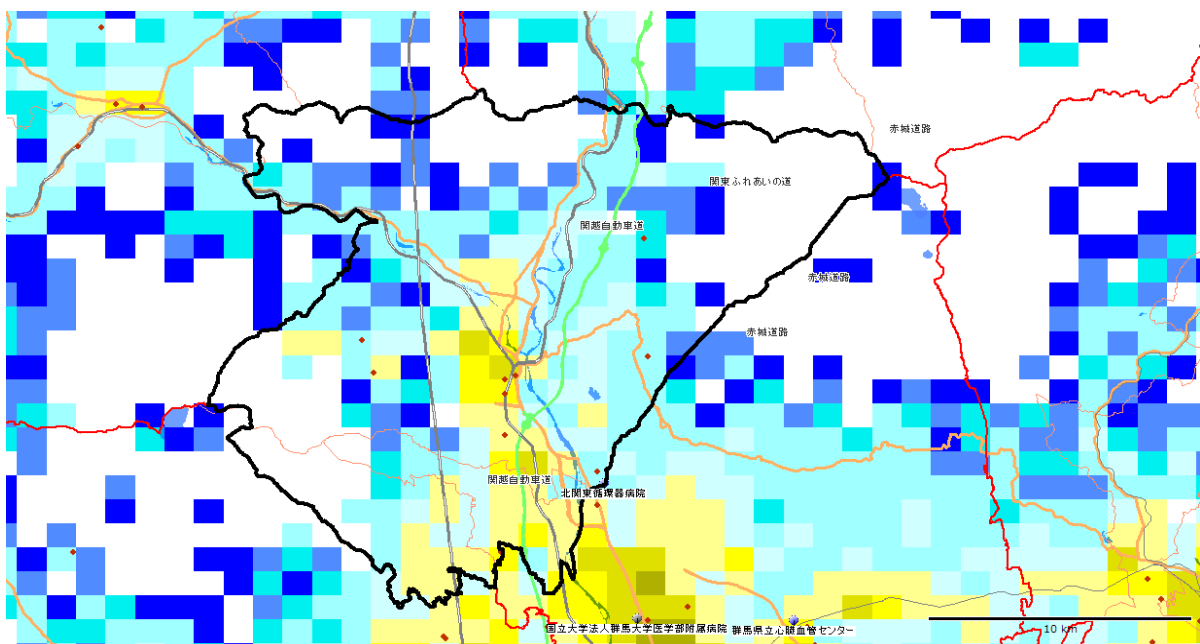


10-3. しぶかわ 渋川医療圏

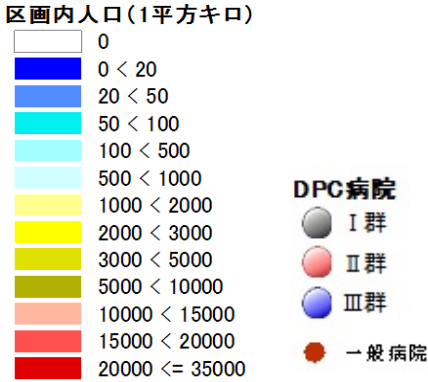
構成市区町村 [渋川市](#) [榛東村](#) [吉岡町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(渋川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 渋川(渋川市)は、総人口約114千人(2015年)、面積289km²、人口密度は394人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 渋川の総人口は2025年に105千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に88千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には21千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 渋川の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値51)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 渋川の一人当たり急性期医療密度指数は1.02、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が48(病院医師数50、診療所医師数41)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。渋川には、年間全身麻酔件数が500例以上の渋川医療センター(Ⅲ群)、群馬県立小児医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は79で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 渋川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,788人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,160床(偏差値59)、高齢者住宅等が628床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,466人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住60である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、155人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(渋川医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

渋川医療圏の総人口は、2005年119,687人が、2015年に113,800人と5%減少し、2025年の人口が104,977人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

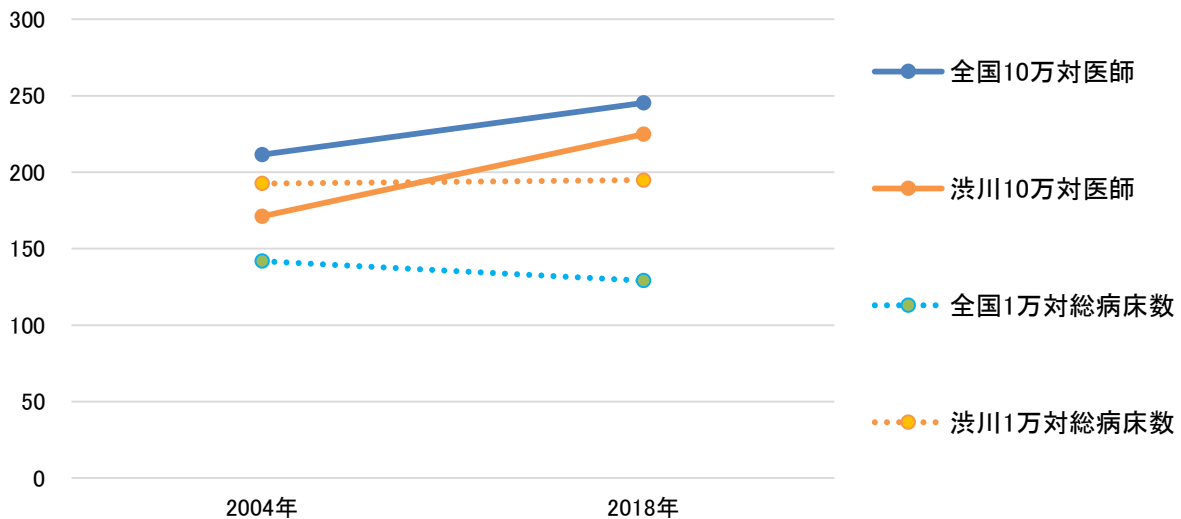
2004年の病院数が12(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2018年に10(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が72(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2018年に74(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,306床(人口1万人当たり193(全国平均142)偏差値59)であったが、2018年に2,217床(人口1万人当たり195(全国平均129)偏差値62)と、89床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

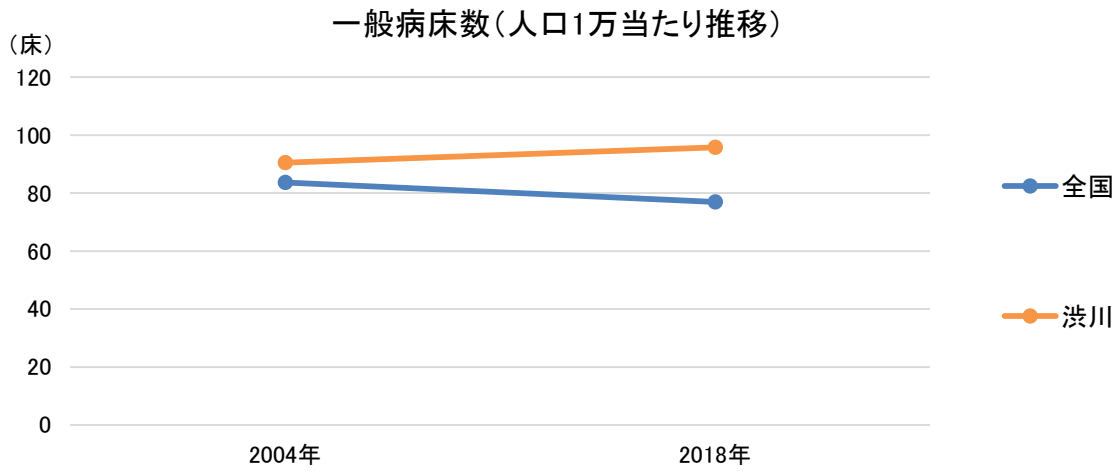
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が205人(人口10万人当たり171人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に256人(人口10万人当たり225人(全国平均245人)偏差値48)と、51人の増加、率にして25%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



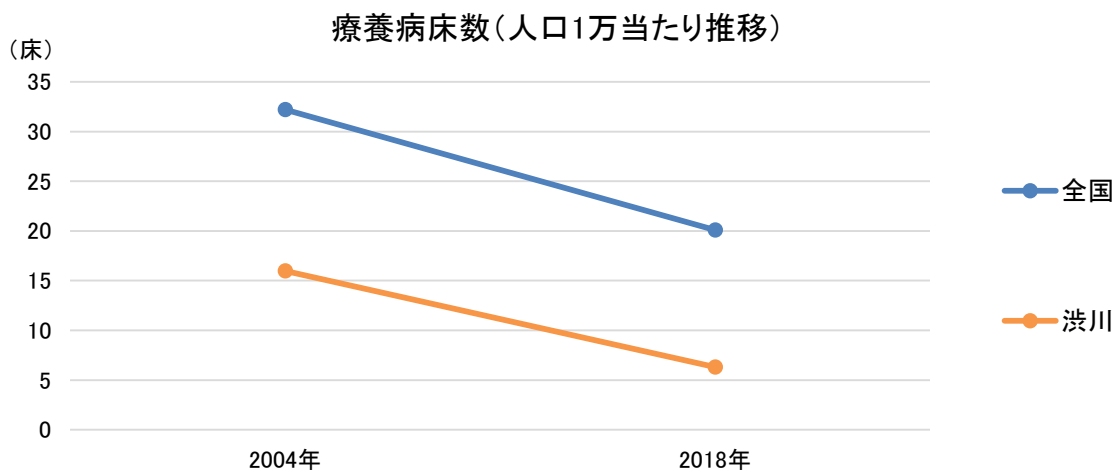
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,083床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に1,090床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値57)と、7床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



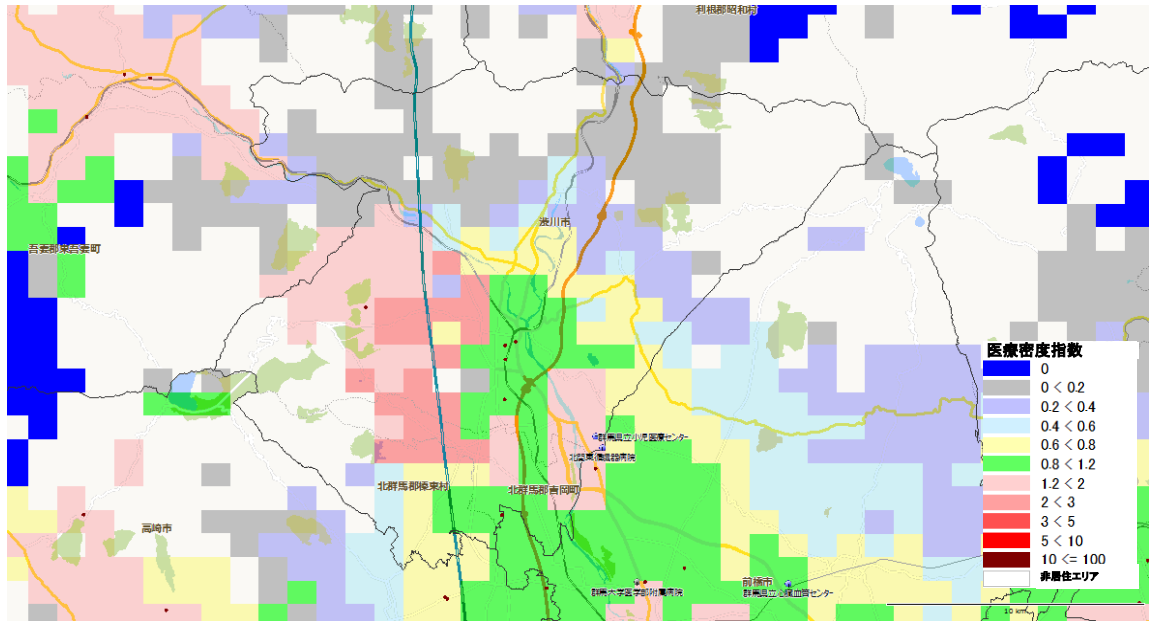
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が200床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2018年に100床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均20)偏差値38)と、100床の減少、率にして50%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



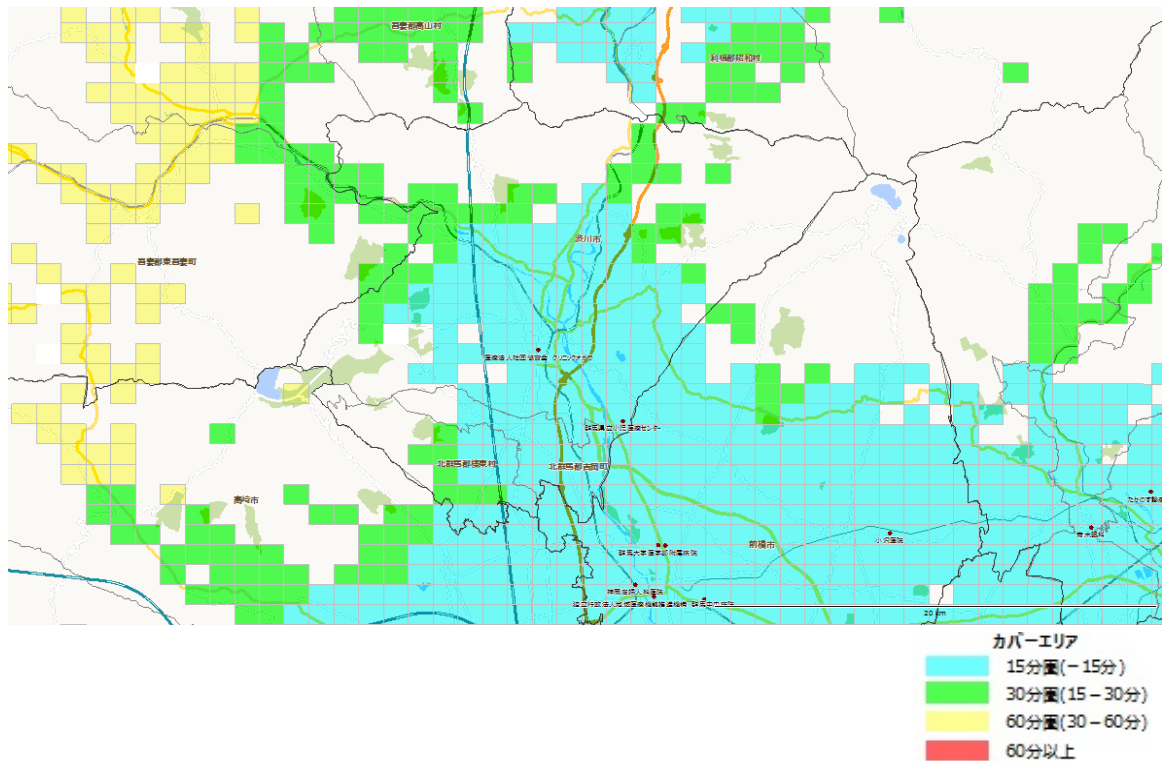
(渋川医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

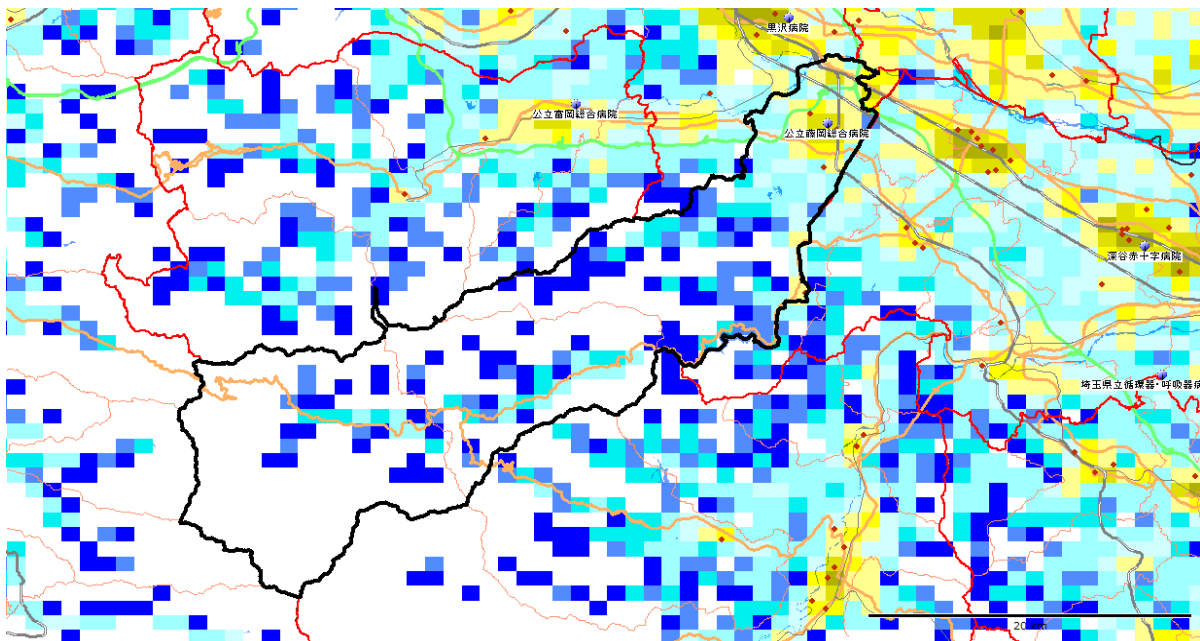


10-4. ふじおか 藤岡医療圏

構成市区町村 [藤岡市](#) [上野村](#) [神流町](#)

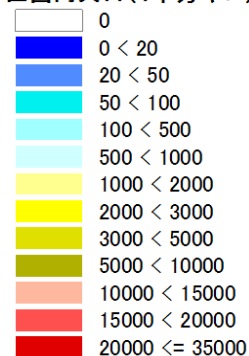
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(藤岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 藤岡(藤岡市)は、総人口約69千人(2015年)、面積477km²、人口密度は145人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 藤岡の総人口は2025年に62千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に51千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には13千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 藤岡の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値49)、介護給付費は256千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 藤岡の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数51、診療所医師数41)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。藤岡には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立藤岡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 藤岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,265人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が773床(偏差値63)、高齢者住宅等が492床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、776人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住72である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、97人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(藤岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

藤岡医療圏の総人口は、2005年73,580人が、2015年に68,892人と6%減少し、2025年の人口が62,359人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

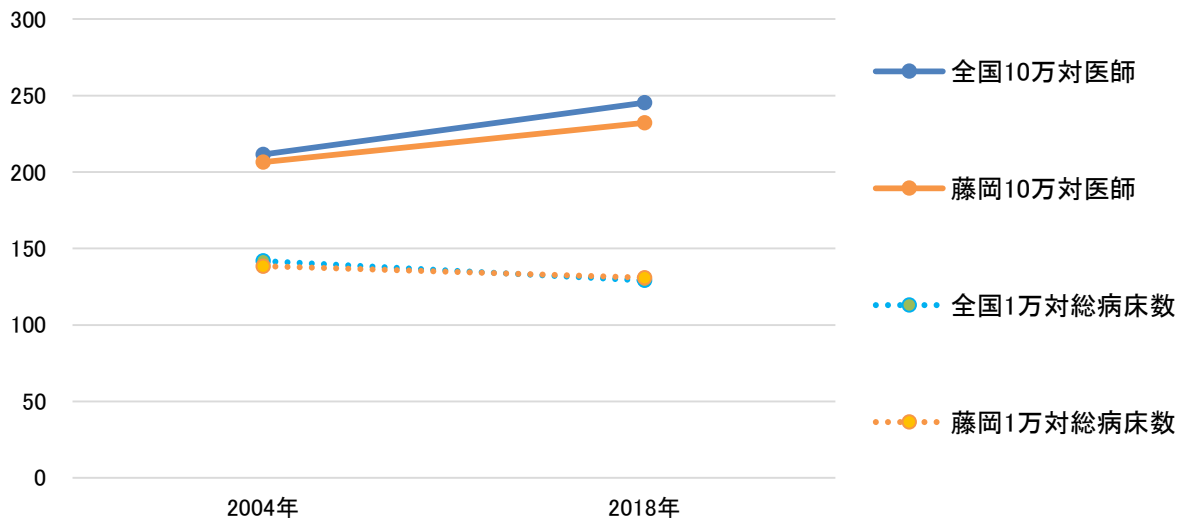
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2018年に5(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に47(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,019床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2018年に902床(人口1万人当たり131(全国平均129)偏差値50)と、117床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

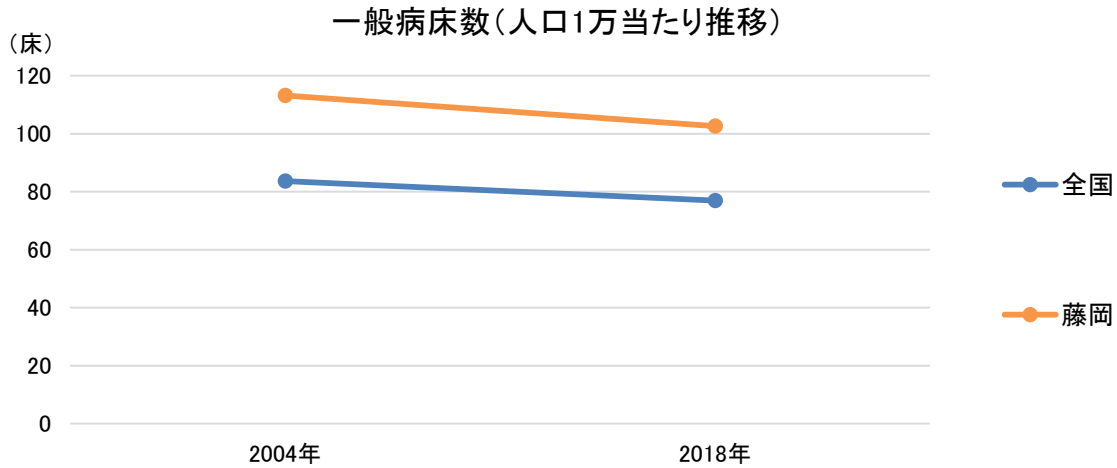
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が152人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に160人(人口10万人当たり232人(全国平均245人)偏差値49)と、8人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



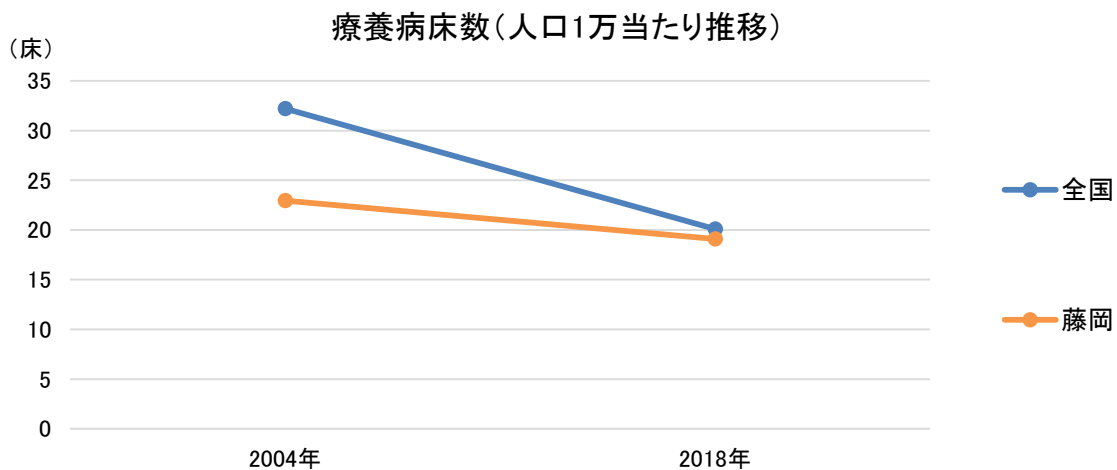
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が833床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2018年に707床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、126床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



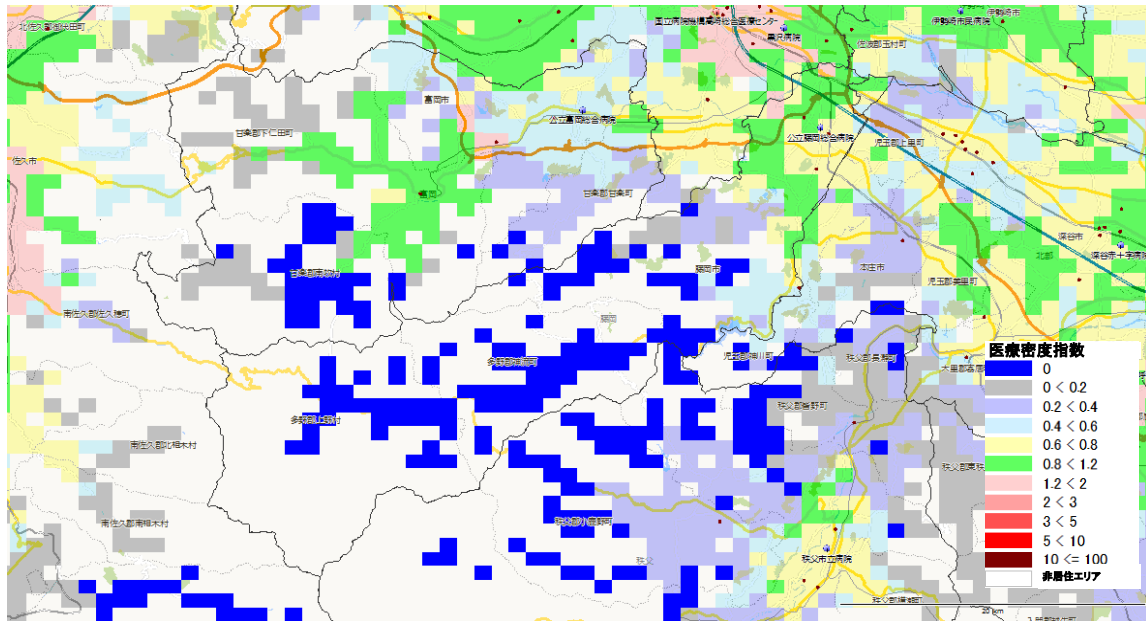
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が182床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2018年に191床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、9床の増加、率にして5%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



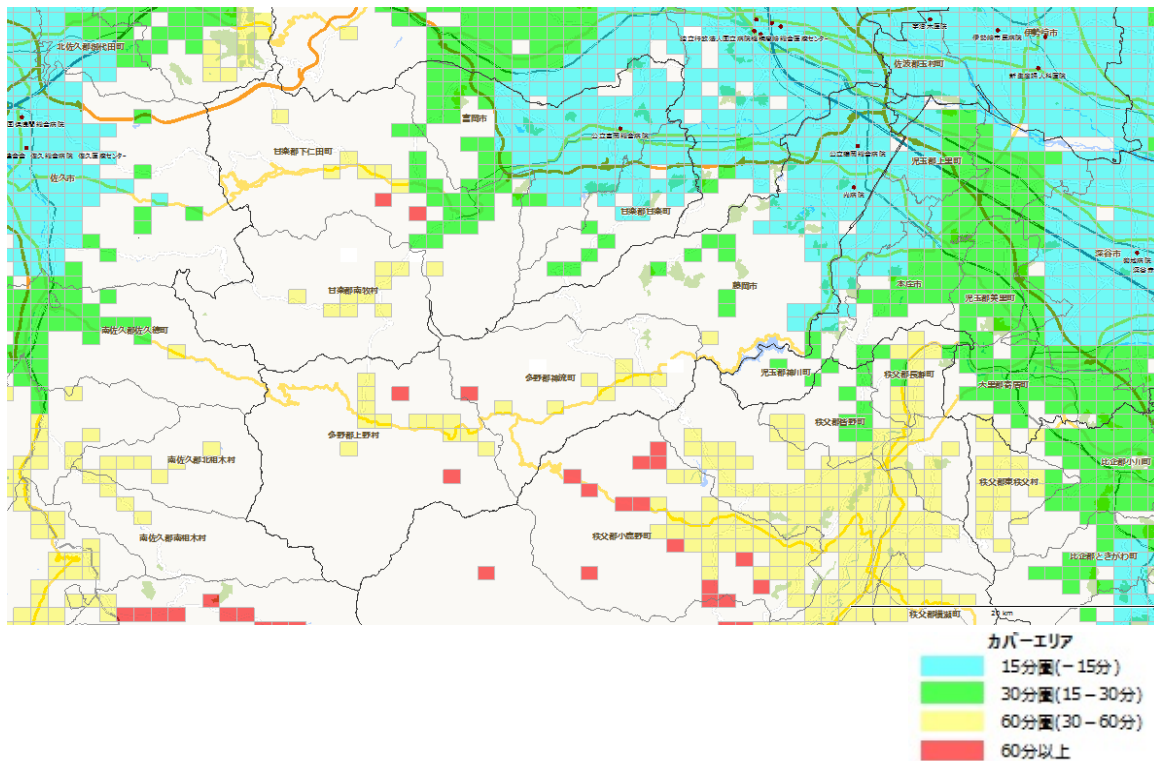
(藤岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

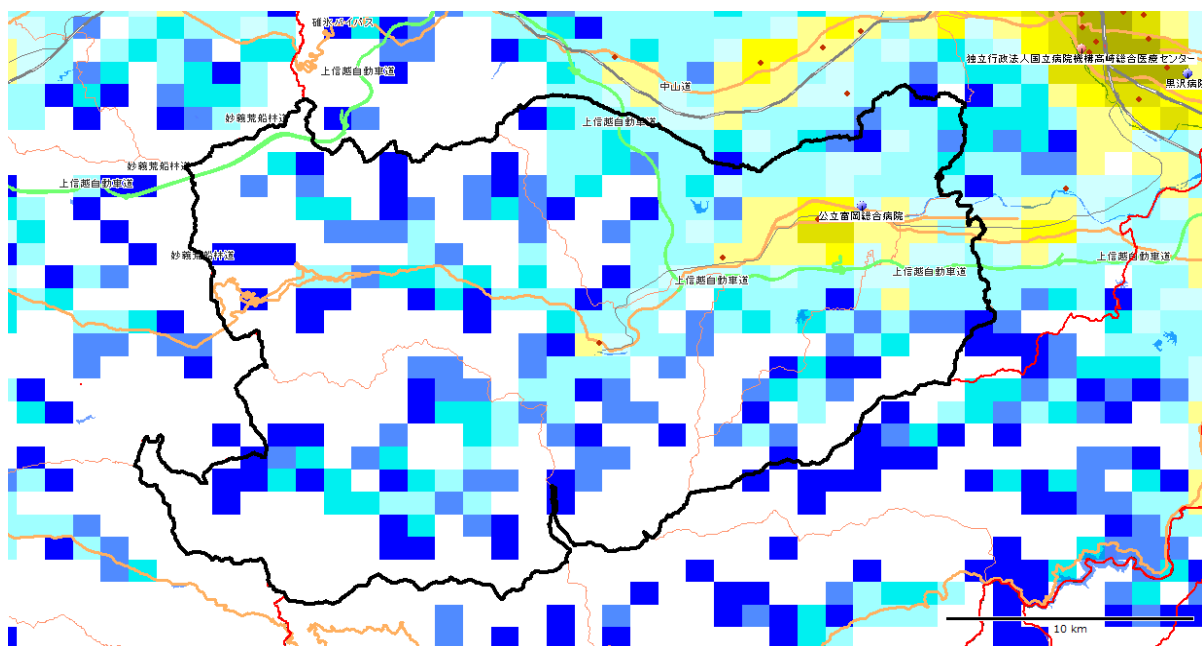


10-5. とみおか 富岡医療圏

構成市区町村 [富岡市](#) [下仁田町](#) [南牧村](#) [甘楽町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(富岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富岡(富岡市)は、総人口約72千人(2015年)、面積489km²、人口密度は148人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富岡の総人口は2025年に63千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に50千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には15千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富岡の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値44)、介護給付費は253千円(偏差値49)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富岡の一人当たり急性期医療密度指数は0.63、一人当たり慢性期医療密度指数は1.02で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。富岡には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立富岡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,541人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,047床(偏差値66)、高齢者住宅等が494床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,132人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム49、軽費ホーム51、グループホーム53、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、57人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

(富岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

富岡医療圏の総人口は、2005年81,151人が、2015年に72,489人と11%減少し、2025年の人口が63,459人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

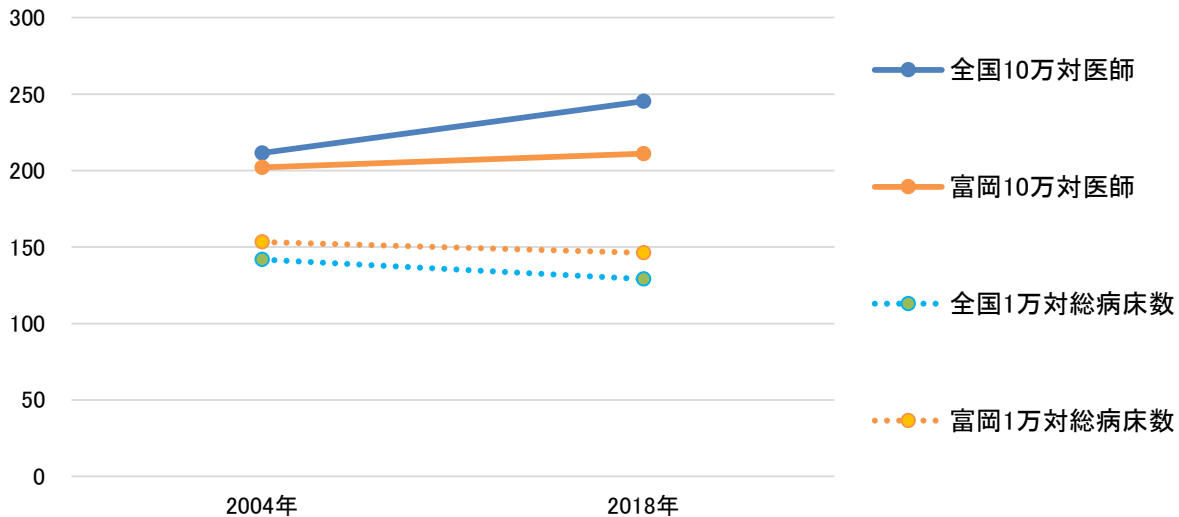
2004年の病院数が5(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に4(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が57(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に61(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,245床(人口1万人当たり153(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に1,060床(人口1万人当たり146(全国平均129)偏差値53)と、185床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

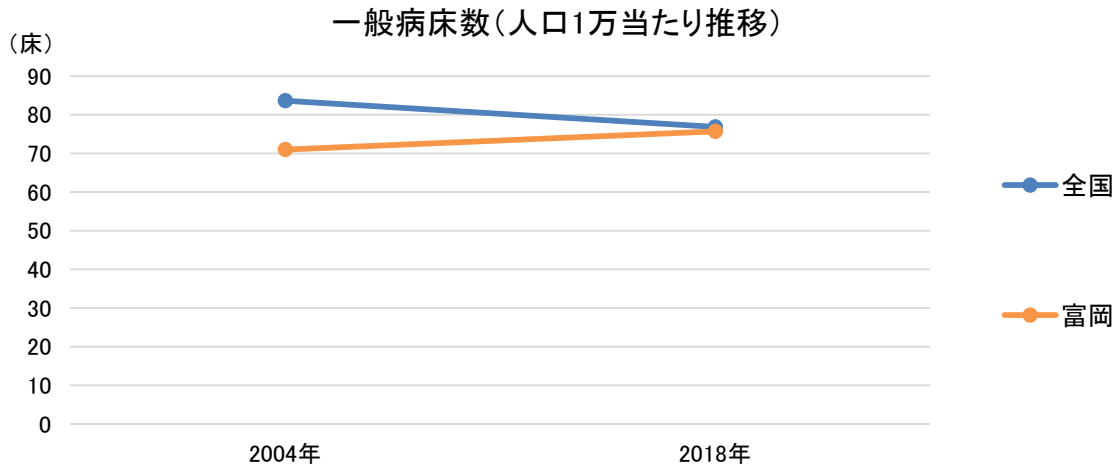
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が164人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に153人(人口10万人当たり211人(全国平均245人)偏差値46)と、11人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



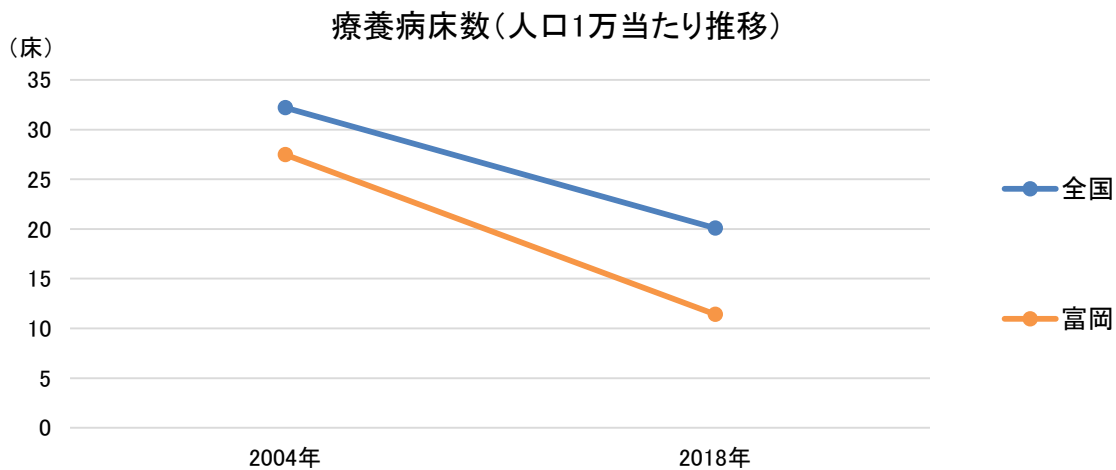
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が576床(人口1万人当たり71(全国平均84)偏差値46)であったが、2018年に549床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値50)と、27床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



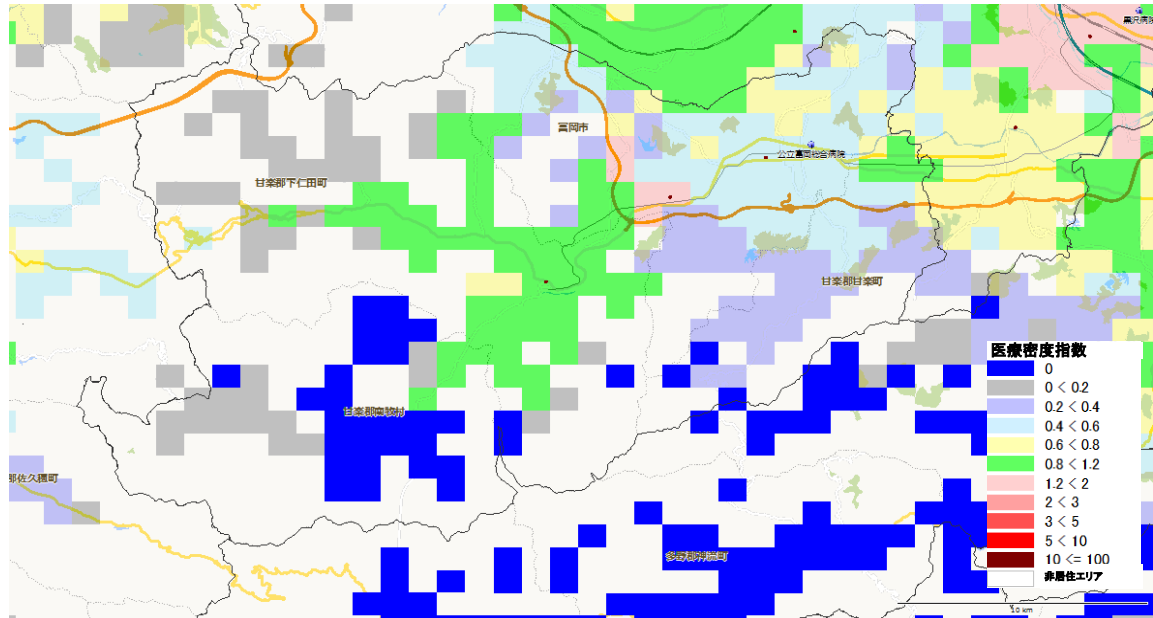
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が305床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に147床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、158床の減少、率にして52%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



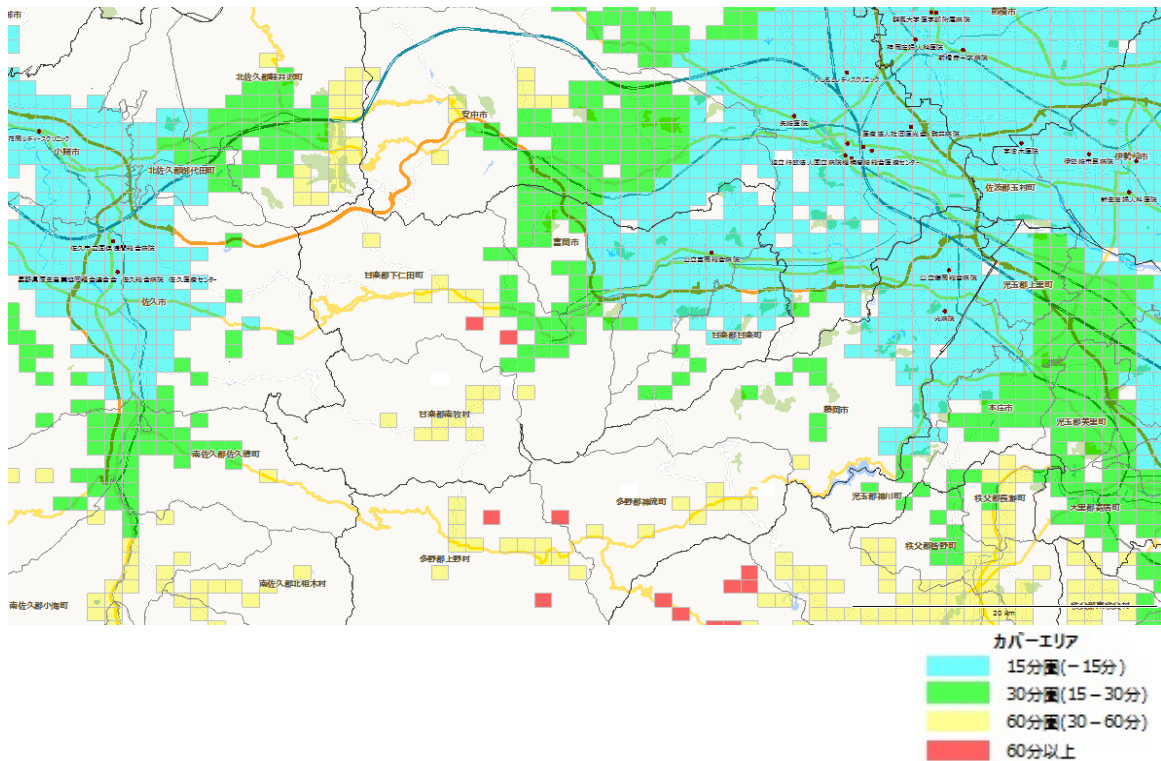
(富岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

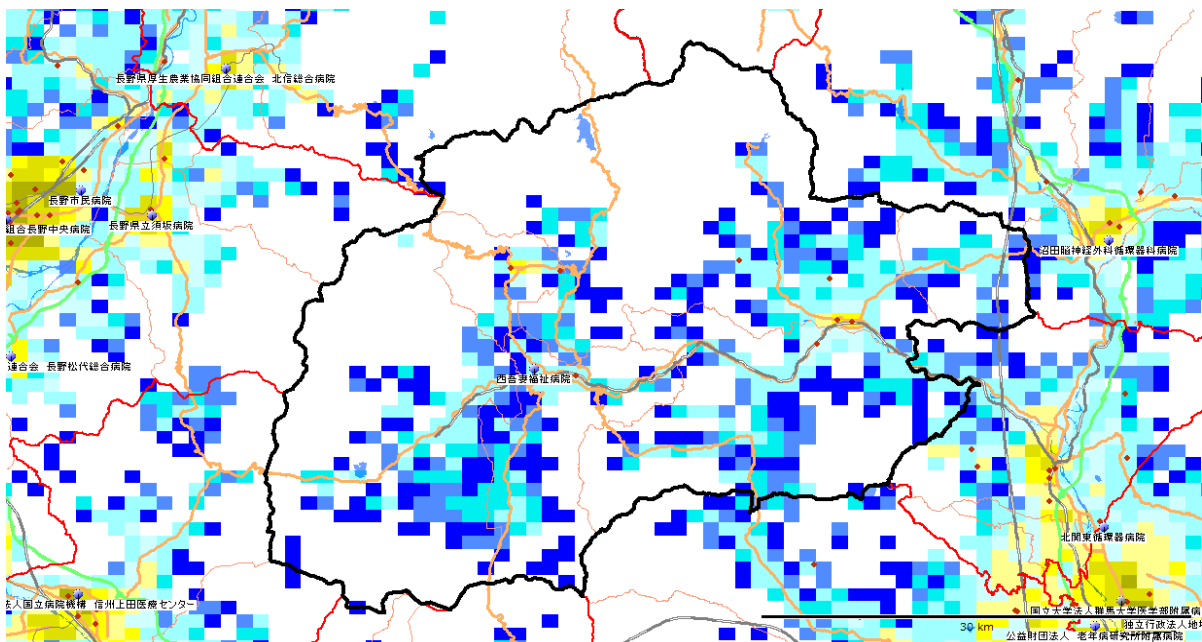


10-6. あづま 吾妻医療圏

構成市区町村 [中之条町](#) [長野原町](#) [嬬恋村](#) [草津町](#)
[高山村](#) [東吾妻町](#)

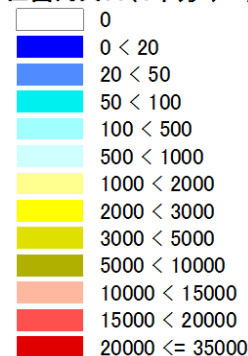
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(吾妻医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 吾妻(吾妻郡中之条町)は、総人口約56千人(2015年)、面積1,279km²、人口密度は44人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 吾妻の総人口は2025年に47千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に35千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 吾妻の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値49)、介護給付費は238千円(偏差値45)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 吾妻の一人当たり急性期医療密度指数は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数は2.13で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数40、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は80で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は32と非常に少ない。吾妻には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は81と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値96と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 吾妻の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、958人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が626床(偏差値47)、高齢者住宅等が332床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、710人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム58、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値88と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、55人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(吾妻医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

吾妻医療圏の総人口は、2005年65,619人が、2015年に56,391人と14%減少し、2025年の人口が47,325人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

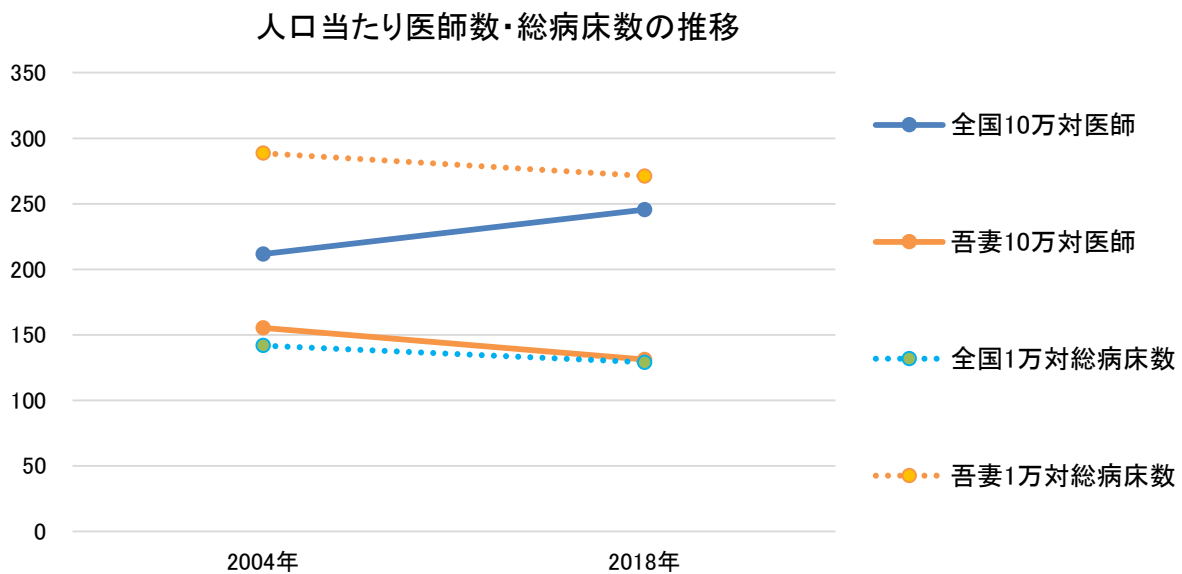
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2018年に9(人口10万人当たり16病院(全国平均6.6)偏差値74)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が37(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2018年に33(人口10万人当たり59診療所(全国平均80)偏差値39)と、4診療所が減少した。

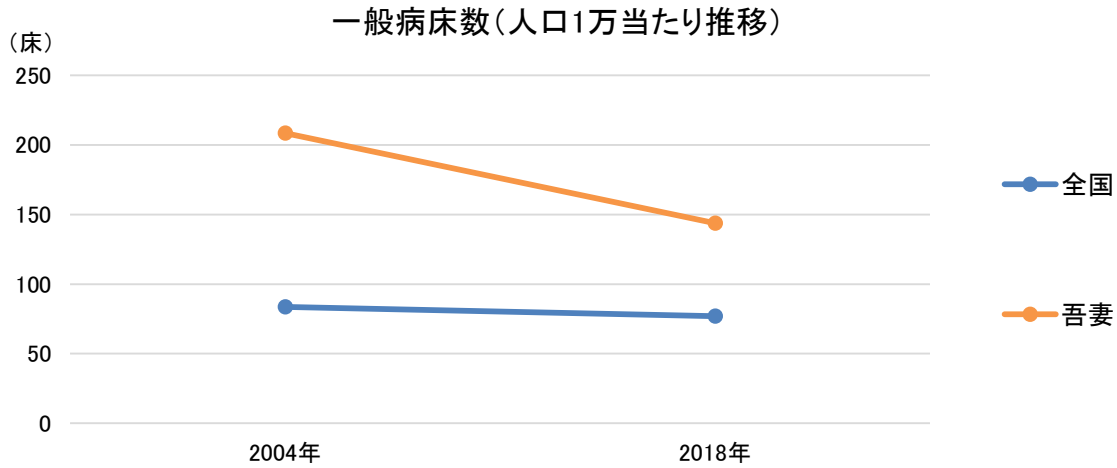
2004年の総病床数が1,894床(人口1万人当たり289(全国平均142)偏差値76)であったが、2018年に1,529床(人口1万人当たり271(全国平均129)偏差値77)と、365床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が102人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に74人(人口10万人当たり131人(全国平均245人)偏差値38)と、28人の減少、率にして27%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



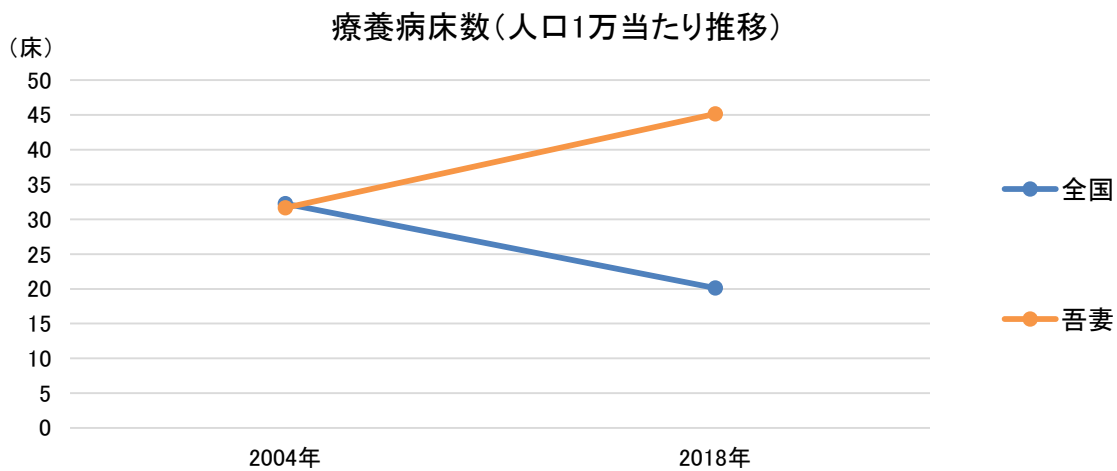
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,368床(人口1万人当たり208(全国平均84)偏差値94)であったが、2018年に811床(人口1万人当たり144(全国平均77)偏差値76)と、557床の減少、率にして41%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



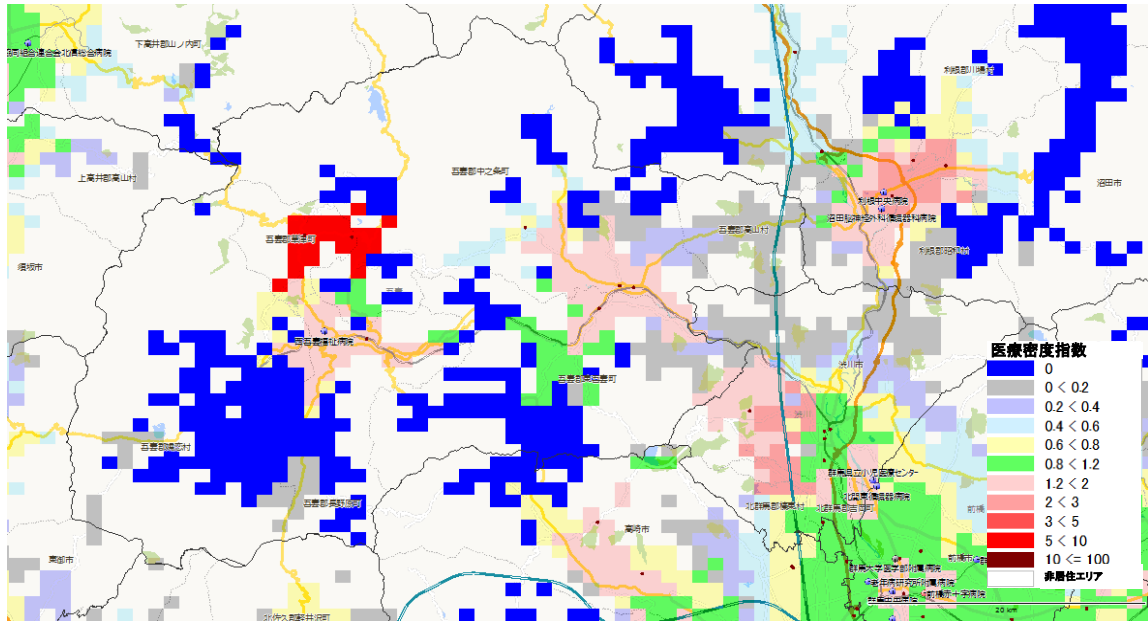
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が299床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2018年に491床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均20)偏差値73)と、192床の増加、率にして64%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



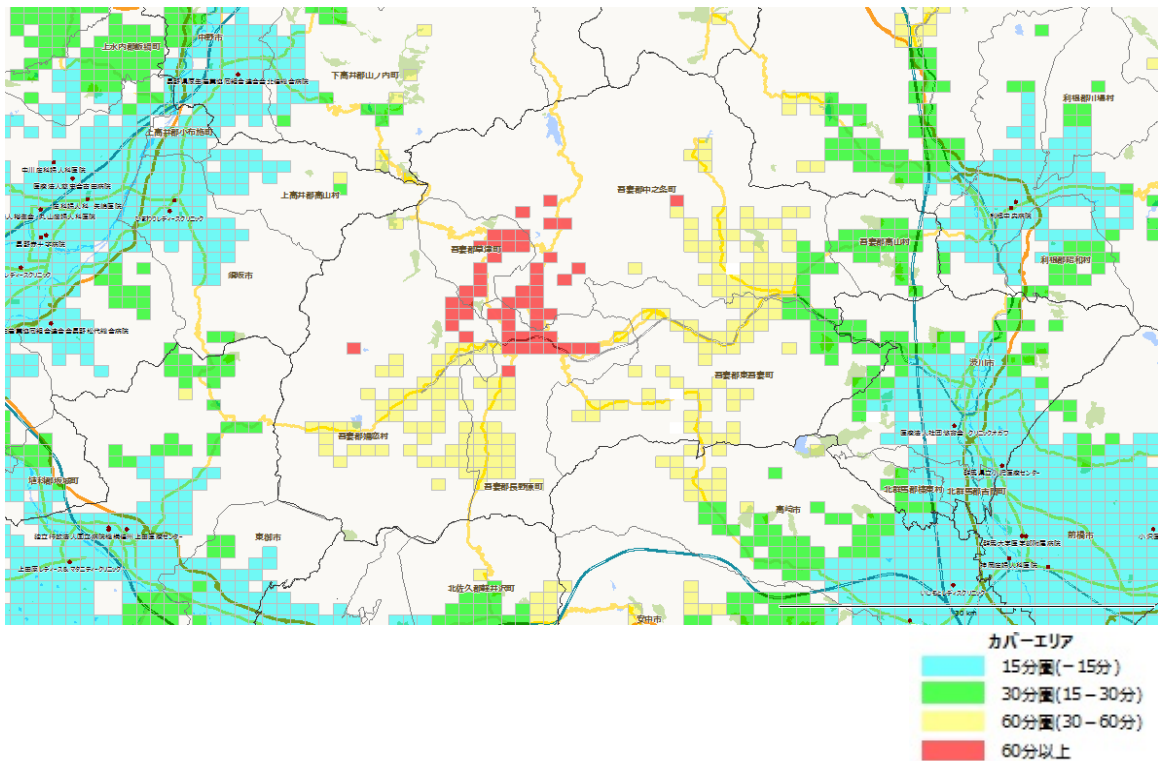
(吾妻医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

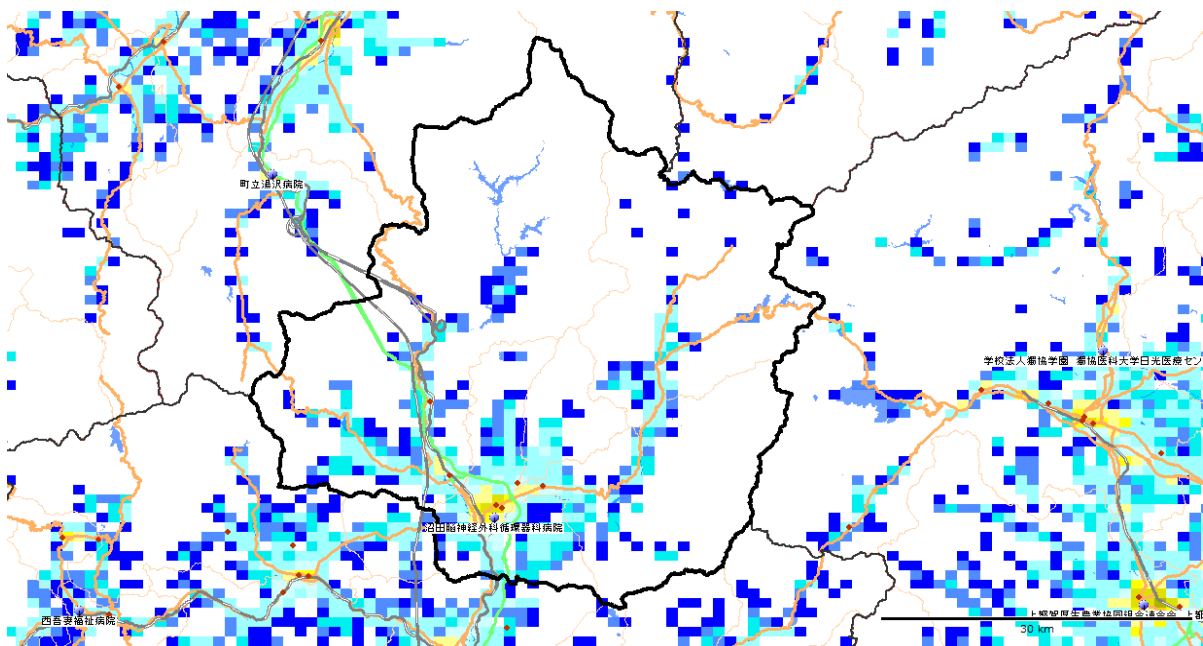


10-7. ぬまた 沼田医療圏

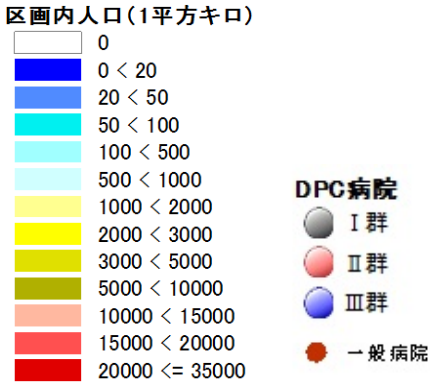
構成市区町村 [沼田市](#) [片品村](#) [川場村](#) [昭和村](#)
[みなかみ町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(沼田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 沼田(沼田市)は、総人口約83千人(2015年)、面積1,766km²、人口密度は47人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 沼田の総人口は2025年に72千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に55千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 沼田の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値44)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 沼田の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は1.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数43、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。沼田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値68と非常に多い。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 沼田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,757人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,018床(偏差値56)、高齢者住宅等が739床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,430人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム59、軽費ホーム53、グループホーム49、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、113人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(沼田医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

沼田医療圏の総人口は、2005年93,927人が、2015年に83,407人と11%減少し、2025年の人口が71,843人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

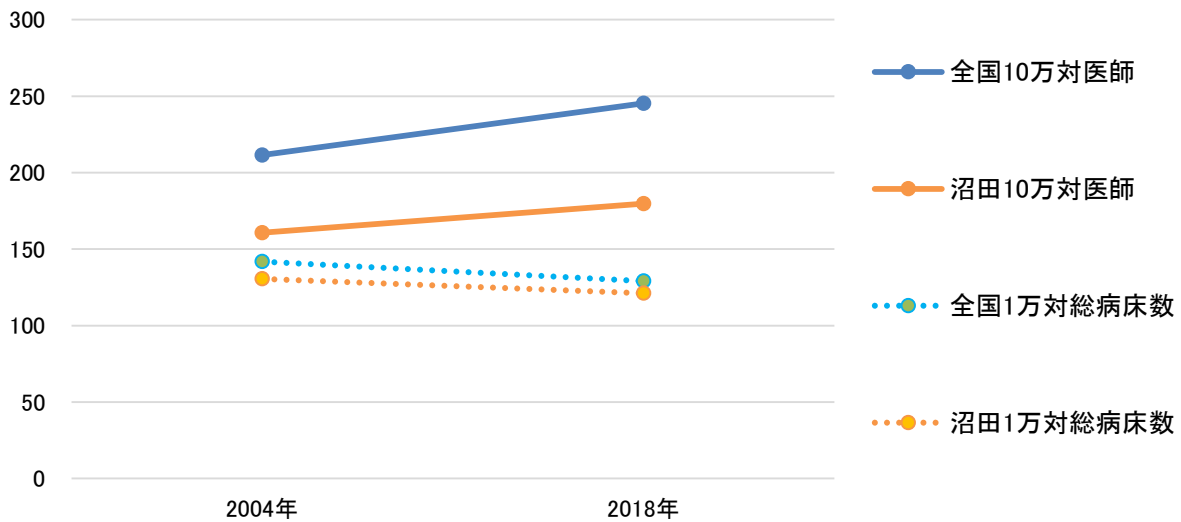
2004年の病院数が7(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2018年に7(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に55(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値42)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,227床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に1,011床(人口1万人当たり121(全国平均129)偏差値49)と、216床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

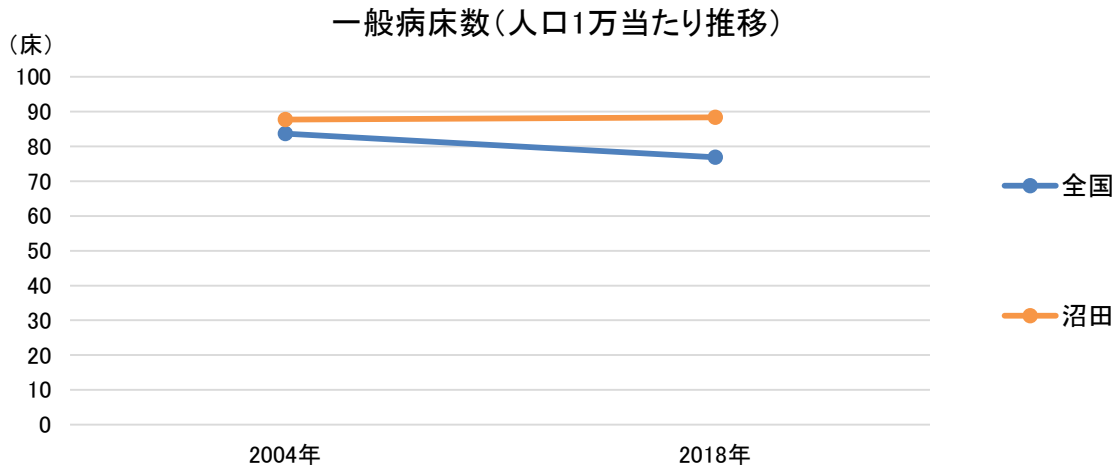
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が151人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に150人(人口10万人当たり180人(全国平均245人)偏差値43)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



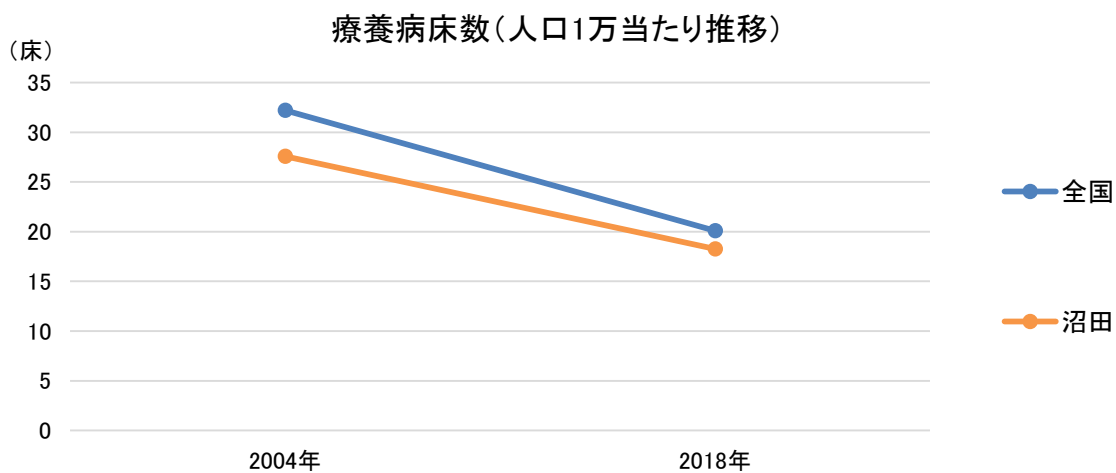
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が824床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に737床(人口1万人当たり88(全国平均77)偏差値54)と、87床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



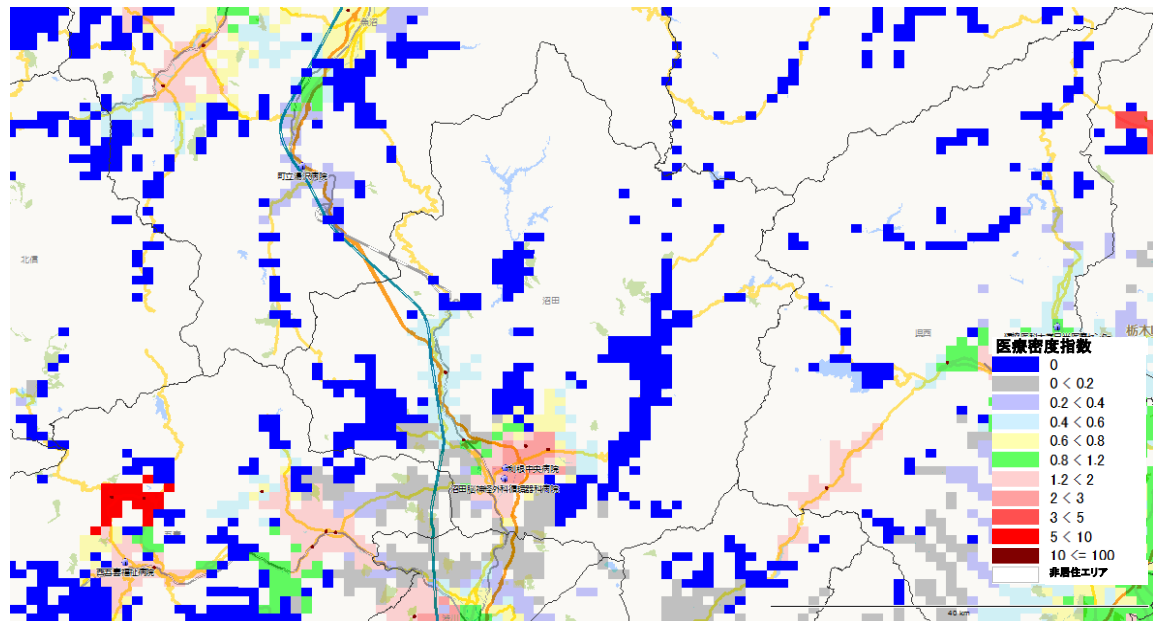
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が351床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に270床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、81床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



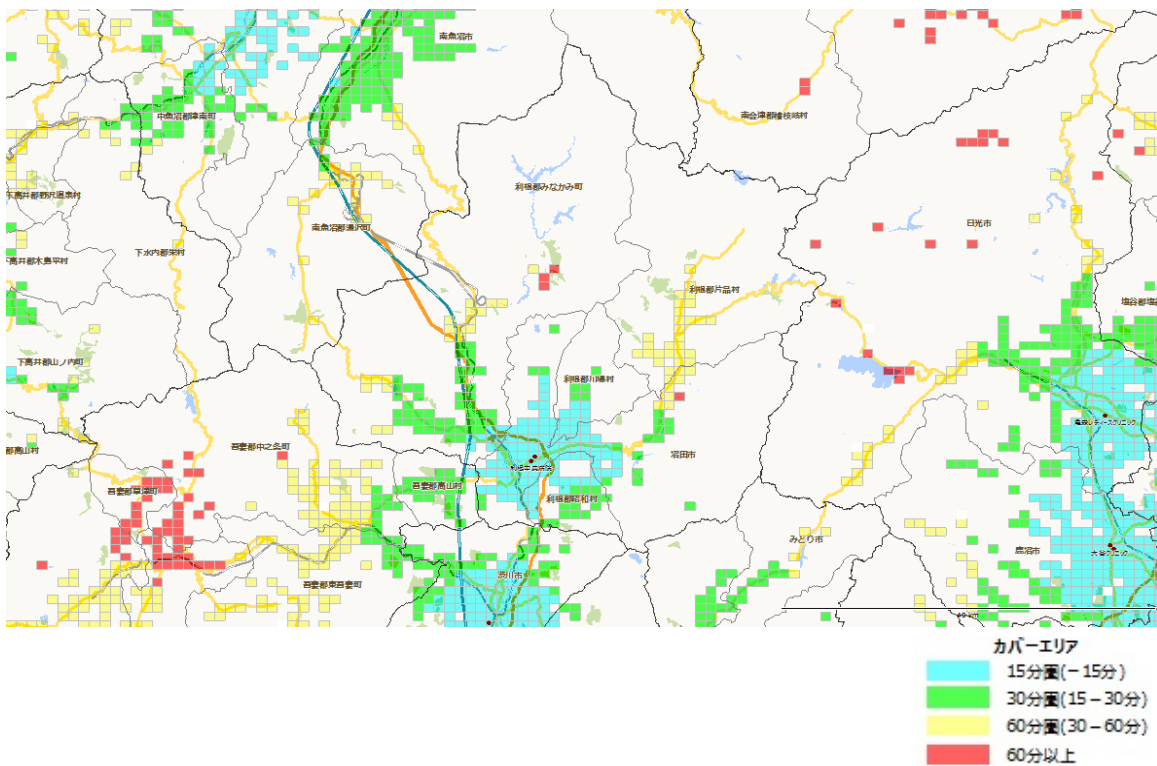
(沼田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

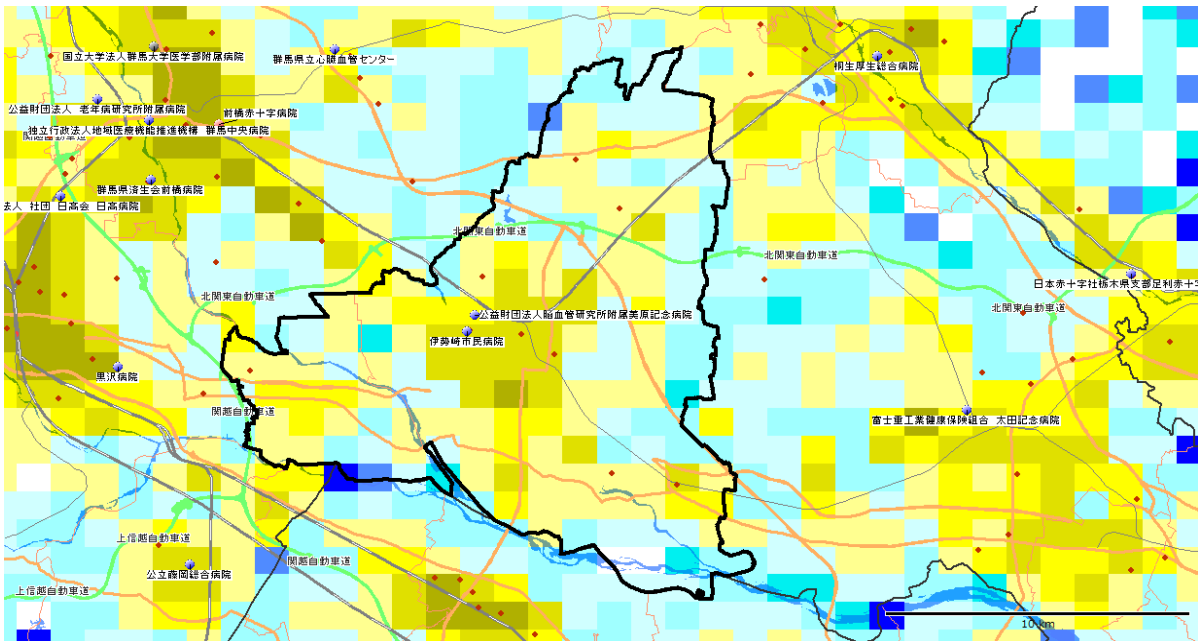


10-8. いせさき伊勢崎医療圏

構成市区町村 [伊勢崎市](#) [玉村町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(伊勢崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 伊勢崎(伊勢崎市)は、総人口約245千人(2015年)、面積165km²、人口密度は1,486人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 伊勢崎の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に223千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には42千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 伊勢崎の一人当たり医療費(国保)は305千円(偏差値38)、介護給付費は247千円(偏差値48)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 伊勢崎の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。伊勢崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の伊勢崎市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 伊勢崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,820人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,757床(偏差値54)、高齢者住宅等が1,063床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,323人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住65である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、390人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-40%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(伊勢崎医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

伊勢崎医療圏の総人口は、2005年240,615人が、2015年に245,468人と2%増加し、2025年の人口が240,843人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

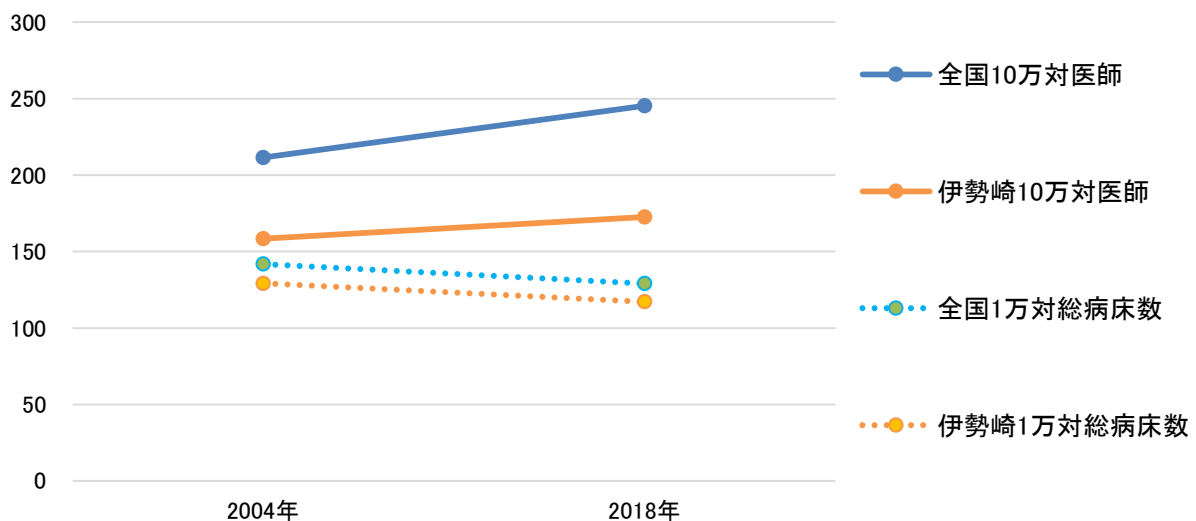
2004年の病院数が11(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2018年に11(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が159(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に167(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、8診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,109床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に2,877床(人口1万人当たり117(全国平均129)偏差値48)と、232床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

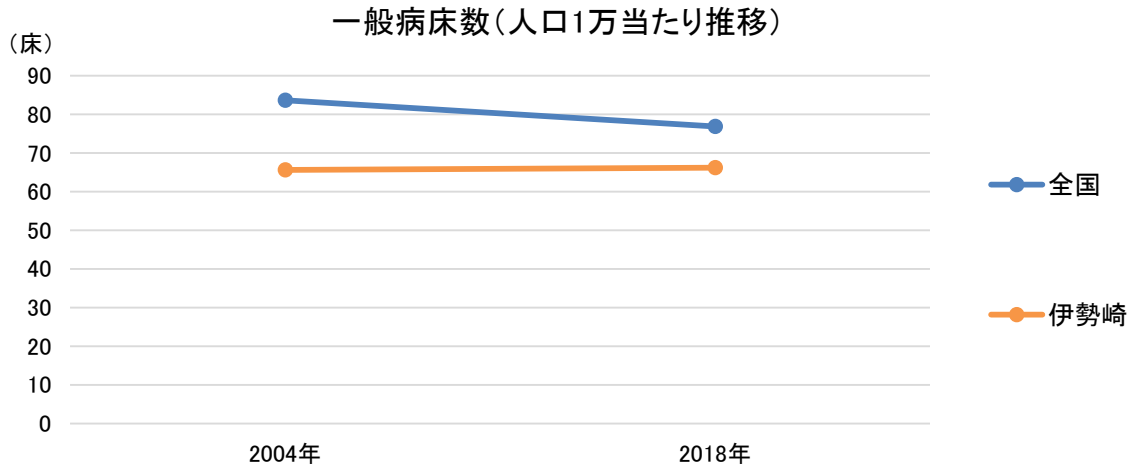
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が381人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に424人(人口10万人当たり173人(全国平均245人)偏差値42)と、43人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



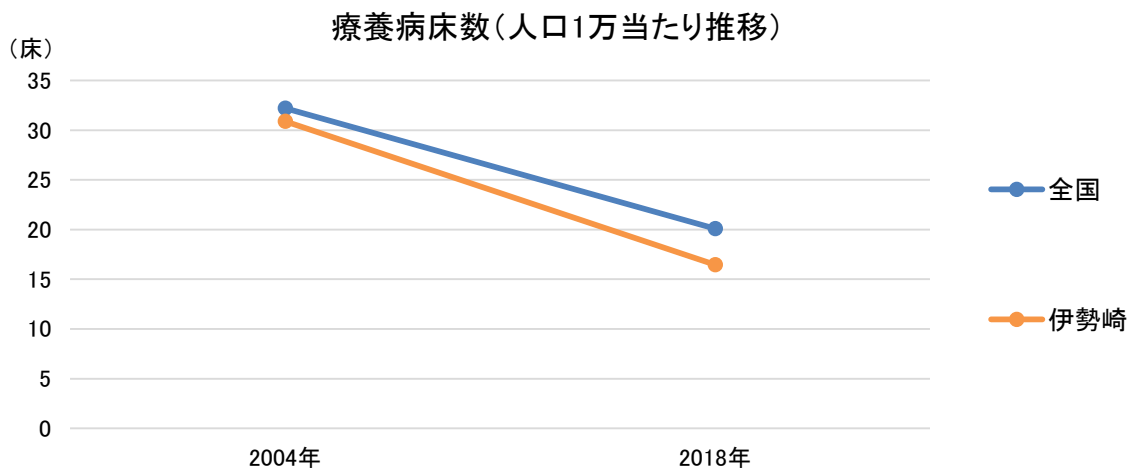
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,579床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2018年に1,626床(人口1万人当たり66(全国平均77)偏差値46)と、47床の増加、率にして3%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



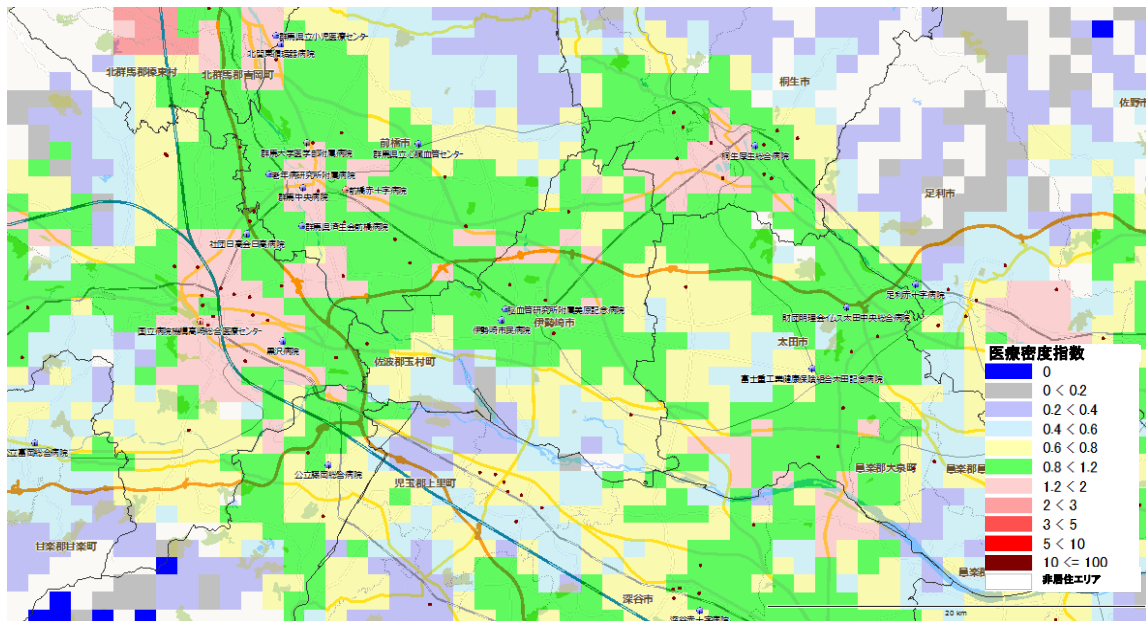
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が586床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2018年に438床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値47)と、148床の減少、率にして25%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



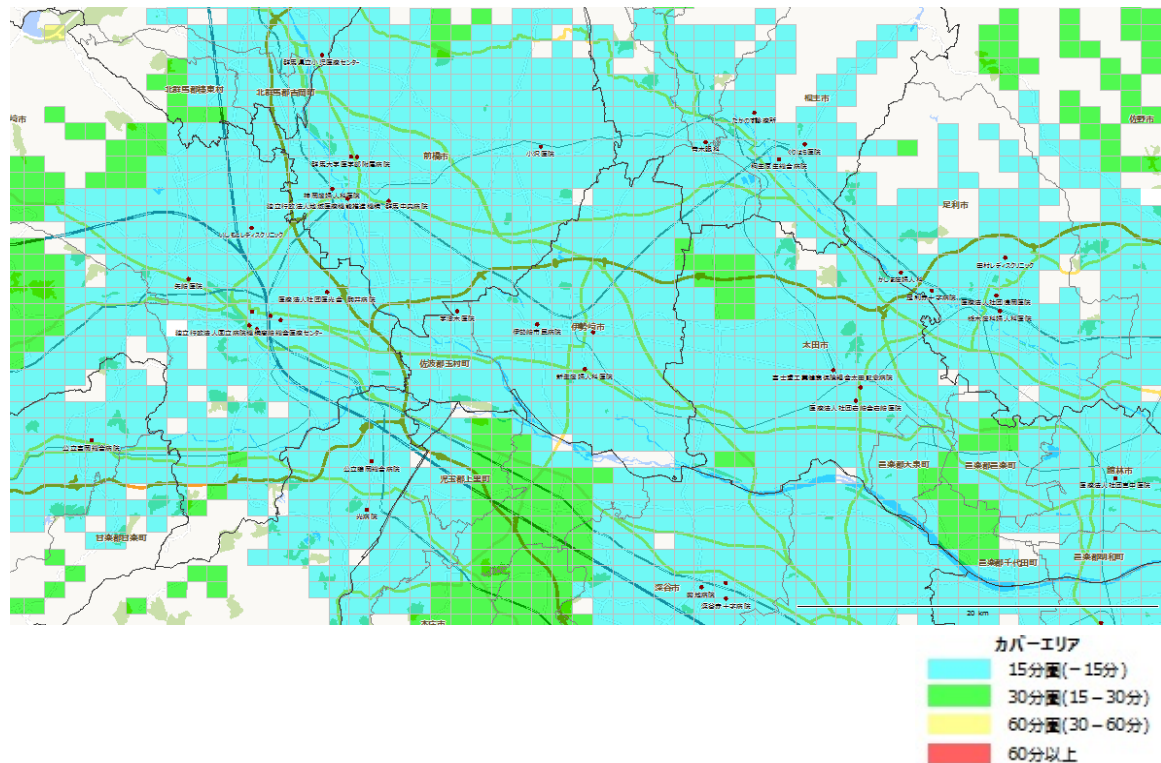
(伊勢崎医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

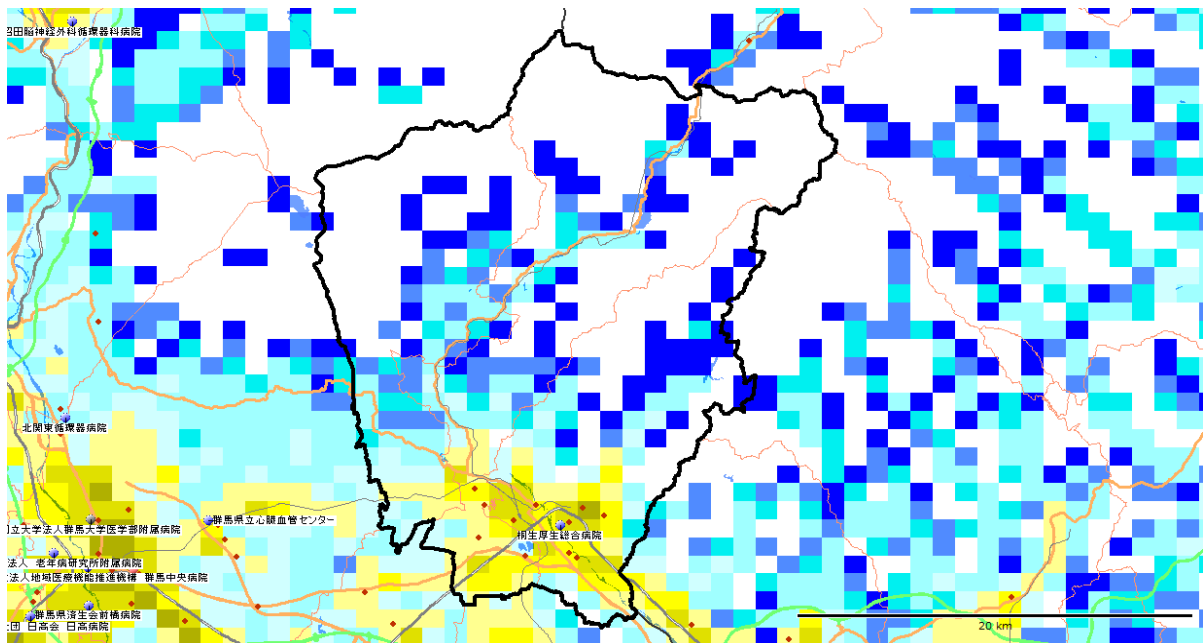


10-9. きりゅう 桐生医療圏

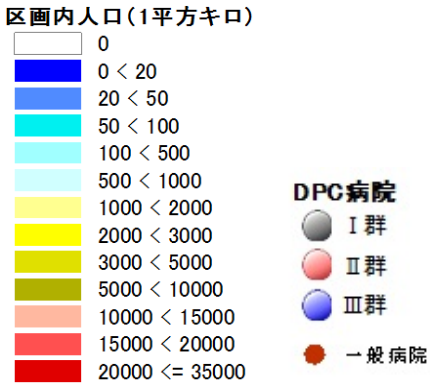
構成市区町村 [桐生市](#) [みどり市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(桐生医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 桐生(桐生市)は、総人口約166千人(2015年)、面積483km²、人口密度は343人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 桐生の総人口は2025年に146千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に116千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 桐生の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値47)、介護給付費は273千円(偏差値55)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 桐生の一人当たり急性期医療密度指数は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は1.16で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数40、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。桐生には、年間全身麻酔件数が500例以上の桐生厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 桐生の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,531人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,827床(偏差値59)、高齢者住宅等が704床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,241人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム39、軽費ホーム54、グループホーム46、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、396人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(桐生医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

桐生医療圏の総人口は、2005年180,152人が、2015年に165,620人と8%減少し、2025年の人口が146,428人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

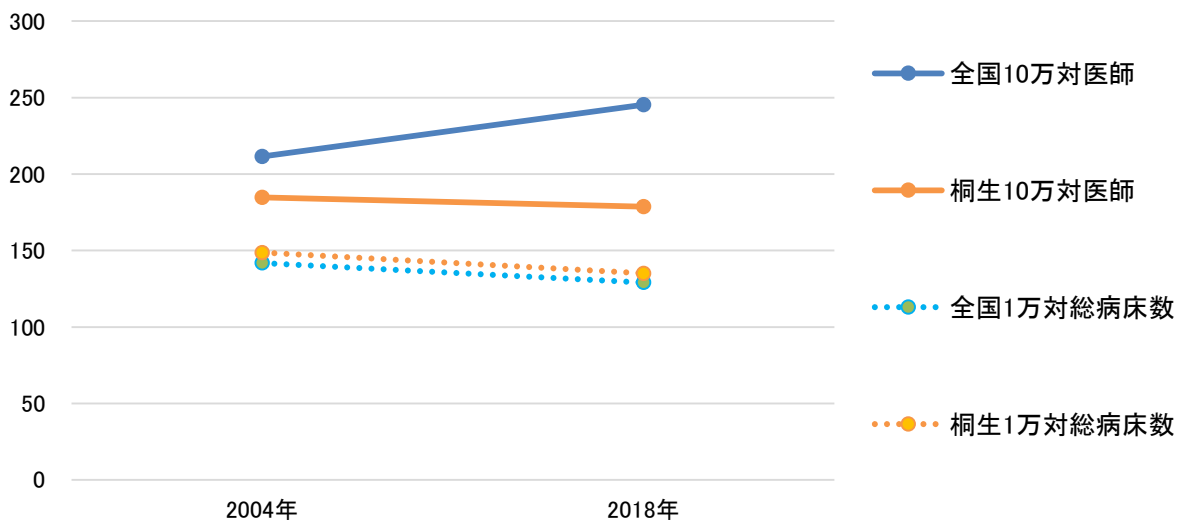
2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2018年に12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が146(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に132(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、14診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,679床(人口1万人当たり149(全国平均142)偏差値51)であったが、2018年に2,237床(人口1万人当たり135(全国平均129)偏差値51)と、442床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

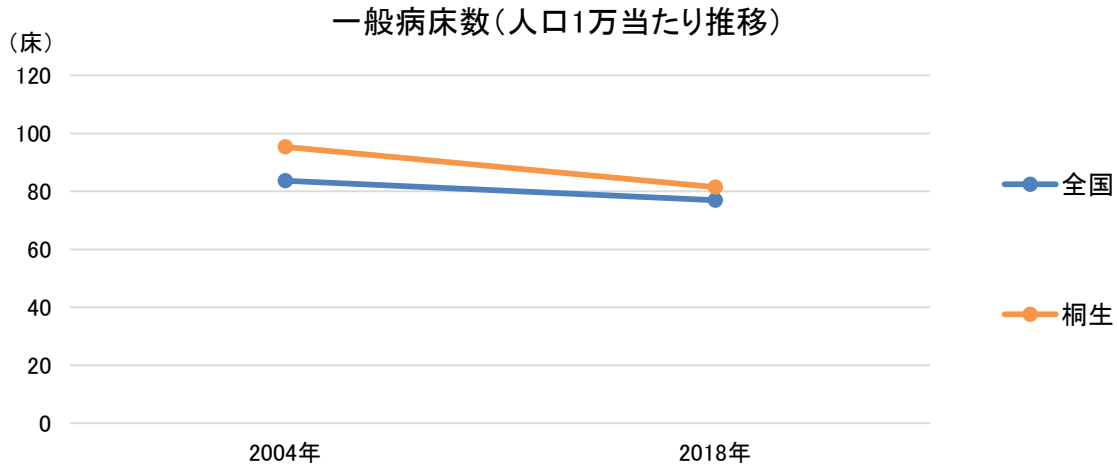
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が333人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に296人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、37人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



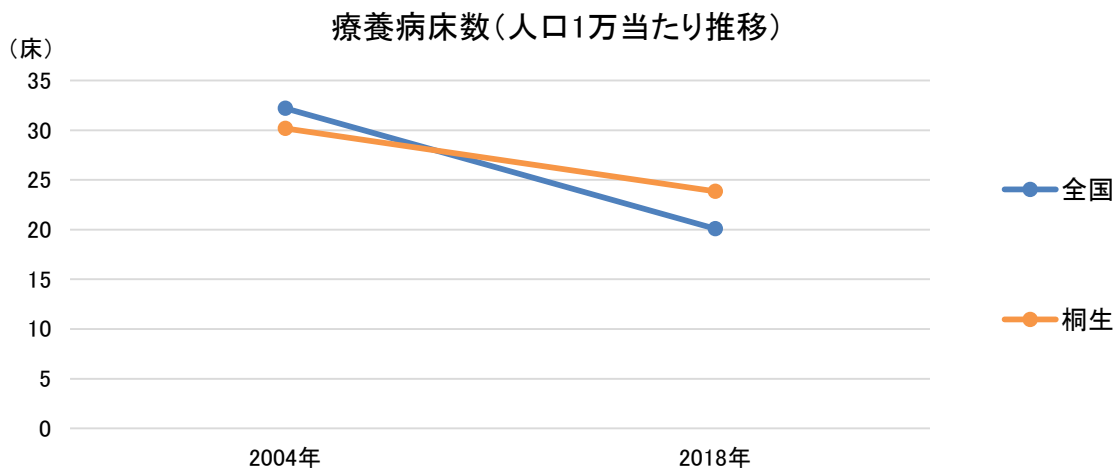
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,717床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に1,348床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値52)と、369床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



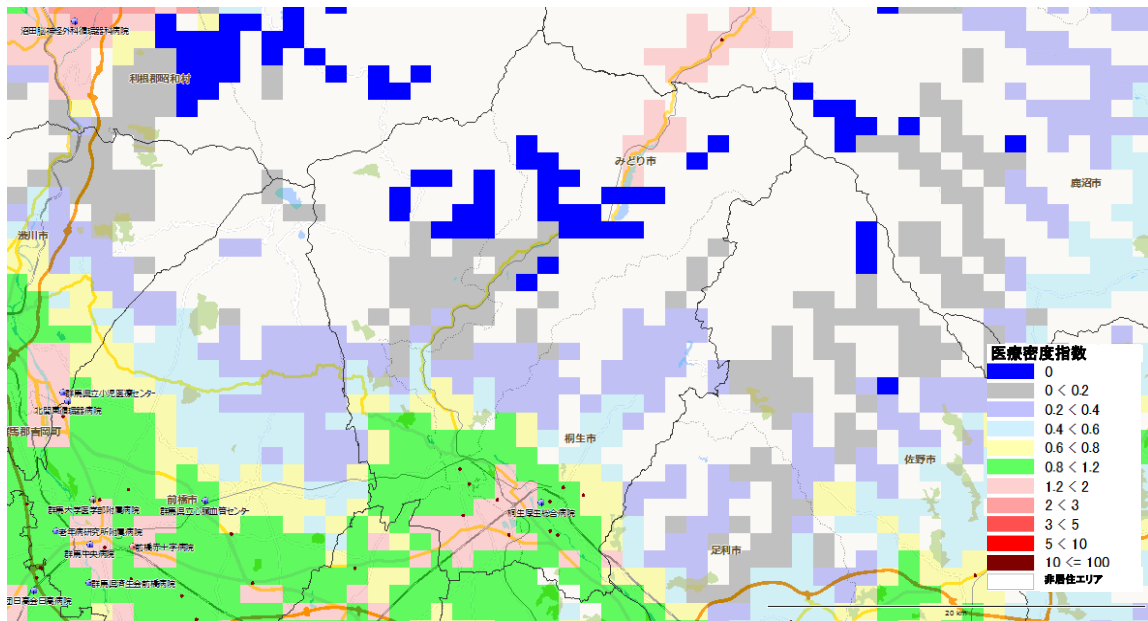
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が592床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均32)偏差値49)であったが、2018年に599床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均20)偏差値53)と、7床の増加、率にして1%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



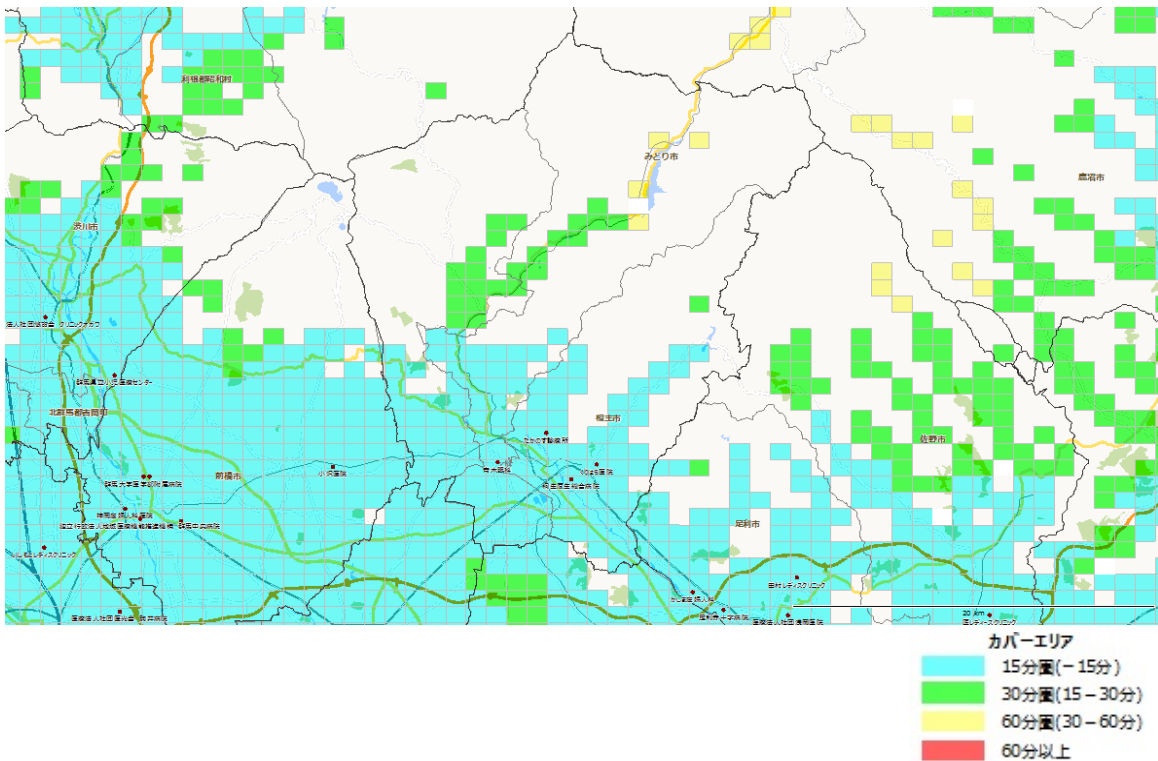
(桐生医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-9-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

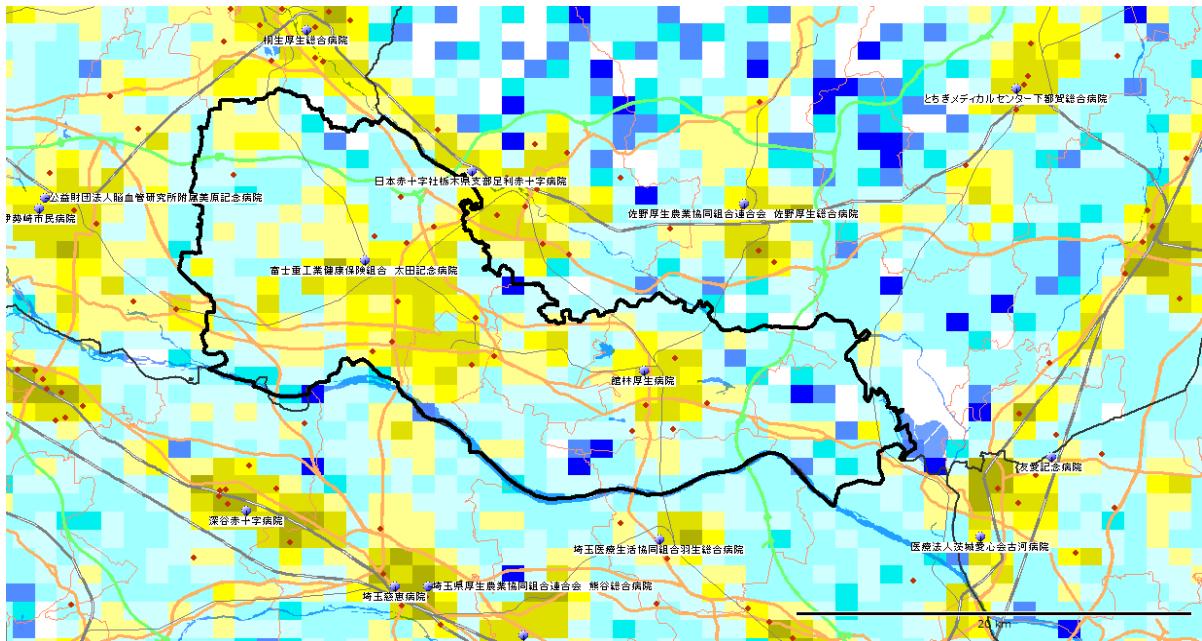


10-10. お お た た て ば や し 太田・館林医療圏

構成市区町村 [太田市](#) [館林市](#) [板倉町](#) [明和町](#)
[千代田町](#) [大泉町](#) [邑楽町](#)

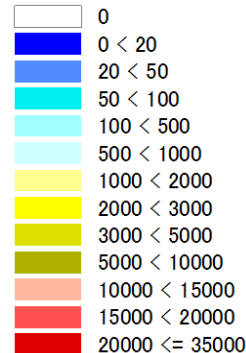
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



(太田・館林医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 太田・館林(太田市)は、総人口約401千人(2015年)、面積369km²、人口密度は1,088人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 太田・館林の総人口は2025年に390千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に351千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には64千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 太田・館林の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値41)、介護給付費は230千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 太田・館林の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は0.8で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。太田・館林には、年間全身麻酔件数が2000例以上の太田記念病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の群馬県立がんセンター(Ⅲ群)、500例以上の公立館林厚生病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 太田・館林の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,481人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,369床(偏差値63)、高齢者住宅等が2,112床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,370人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム53、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住55である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、461人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(太田・館林医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

太田・館林医療圏の総人口は、2005年400,402人が、2015年に401,479人と1%未満増加し、2025年の人口が389,500人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

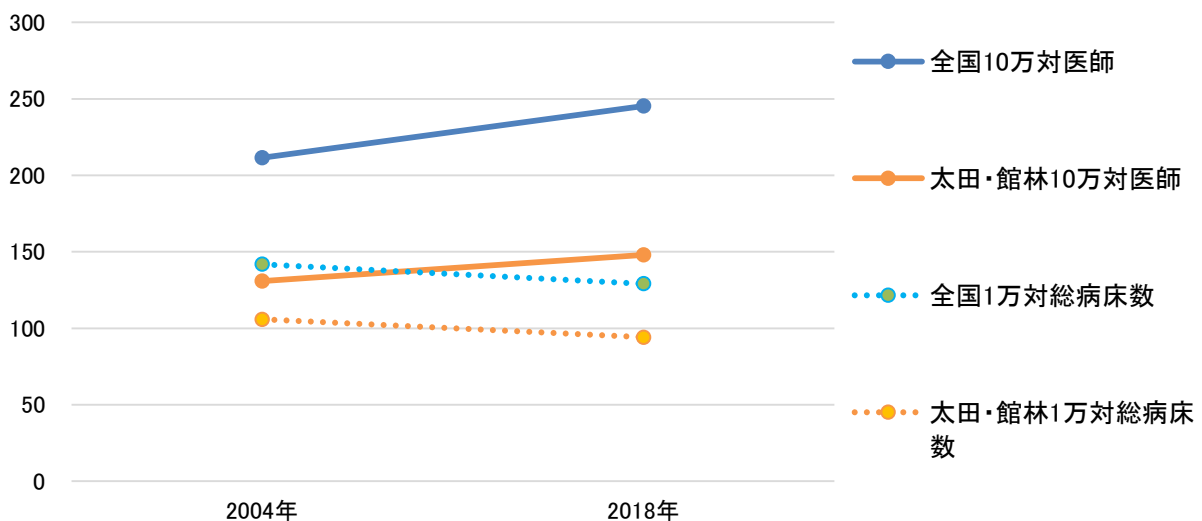
2004年の病院数が20(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2018年に19(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が225(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2018年に263(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値42)と、38診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,238床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2018年に3,780床(人口1万人当たり94(全国平均129)偏差値43)と、458床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

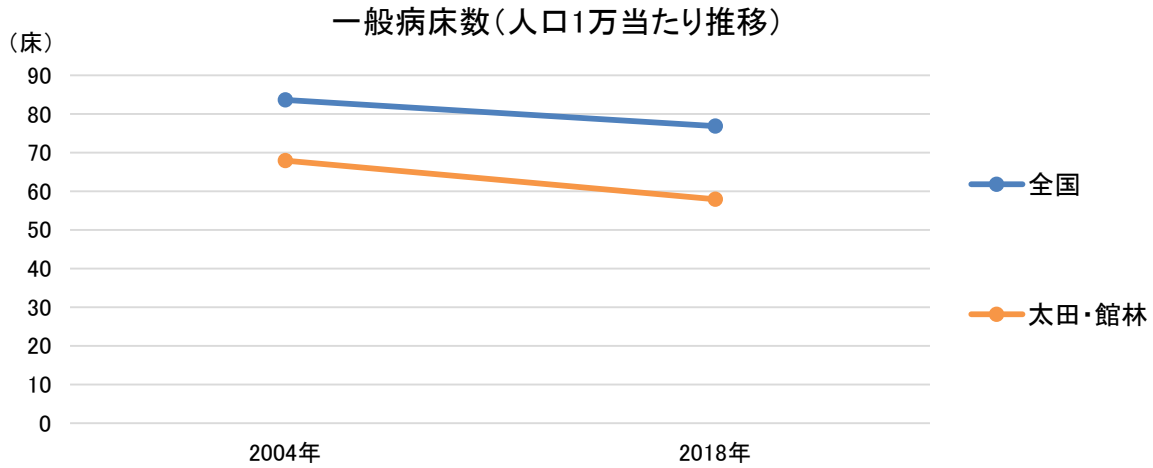
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が524人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に594人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値39)と、70人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



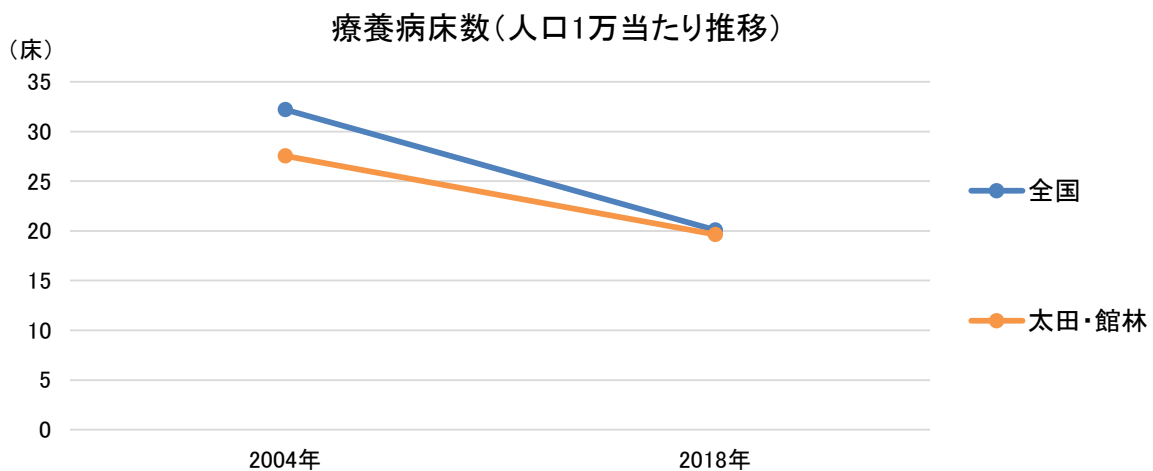
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,722床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値44)であったが、2018年に2,326床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、396床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



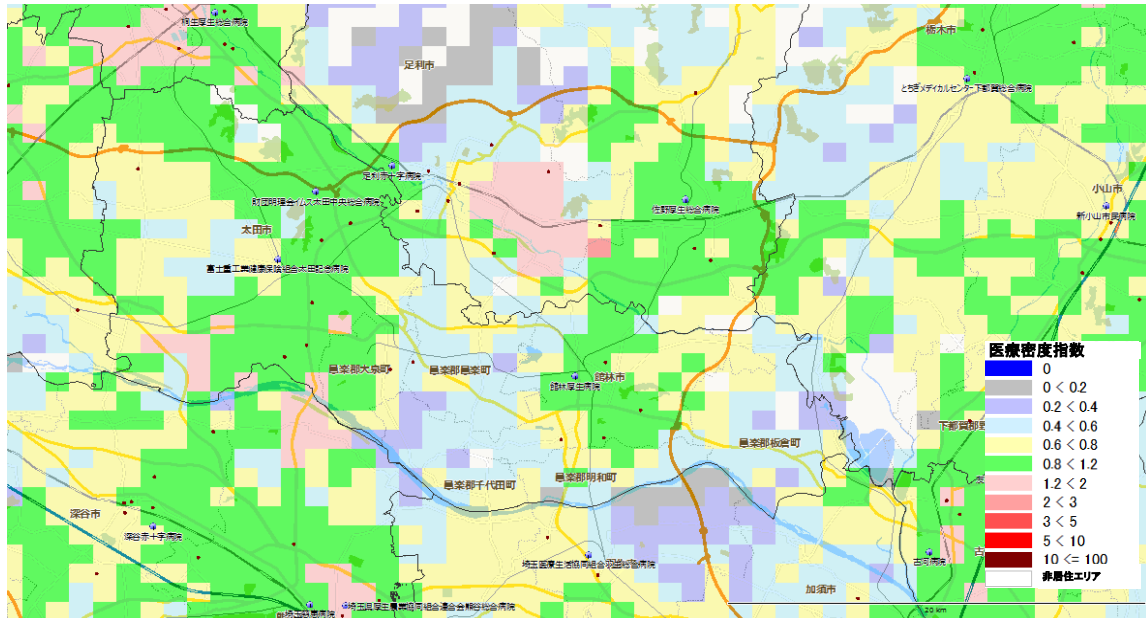
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が893床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に854床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値50)と、39床の減少、率にして4%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(太田・館林医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-10-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)

